

ApresiaLightGS シリーズ スイッチ

ハードウェアマニュアル

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂履歴表

No.	年 月 日	内 容
—	2018年12月17日	新規制定
A	2019年1月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図 2-2 型式ラベルの貼付位置の変更 ・ 図 2-5 型式ラベルの大きさ と 貼付位置の変更 ・ 図 2-8 型式ラベルの貼付位置の変更 ・ 図 2-11 型式ラベルの貼付位置の変更 ・ 図 3-8 型式ラベルの貼付位置の変更
B	2019年6月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.1 表 1-1 に下記 3 機種を追加。 ApresiaLightGS110GT-PoE、APLGS110GTPOE ApresiaLightGS120GT-PoE、APLGS120GTPOE ApresiaLightGS128GT-PoE、APLGS128GTPOE ・ 1.2 ユーザーズガイド、ファームウェアリリースノートを追加。 ・ 1.4.1 APLGS110GTPOE、APLGS120GTPOE、APLGS128GTPOE を追加。 ・ 1.4.2 別売り品の情報を追加。 ・ 2.3 APLGS110GTPOE、APLGS120GTPOE、APLGS128GTPOE の基本仕様を追加。 ・ 2.4 表 2-5 のネットワーク認証機能に補足説明を追加。 ・ 2.4 APLGS110GTPOE、APLGS120GTPOE、APLGS128GTPOE の機能仕様を追加。 ・ 2.5 APLGS110GTPOE、APLGS120GTPOE、APLGS128GTPOE を追加。 フロントパネル構成図を LED とその他(スイッチとポート)に分けて記載。 フロントパネルの説明の表にパネル表示文字を追加。 フロントパネルの説明の表に SFP ポート LED を追加。 APLGS110GTSS、APLGS120GTSS のボトムパネルの説明に壁掛用穴を追加。 ・ 2.6 APLGS110GTPOE、APLGS120GTPOE、APLGS128GTPOE を追加。 ・ 3.2.7 ラックマウント金具による壁面設置手順を追加。 ・ 4.2.2.1 初期 IP アドレスの表示位置を示す図を追加。
C	2019年8月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.4.2 別売り品 SFP モジュールを追加。 ・ 3.2.5 APLGS110GTSS、APLGS120GTSS、APLGS110GTPOE の最大段積み数(2段)、および段積み時の留意事項を追加。
D	2019年12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「本製品」の表記を「本装置」に変更。 ・ 「吸気口」の表記を「通風孔」に統一。 ・ 「安全にお取り扱いいただくために」に禁止マーク(丸に斜線)の図記号を追加。 ・ 「安全に関するご注意」の「修理の際はご購入の販売店もしくは販売元に依頼してください」の表記を削除。 ・ 1.4.2 「別売り品」に専用マグネットシートを追加。 ・ 2.5 「各部の名称と機能」にサイドパネルの図を追加し、ネジ穴の適用金具の情報を追加。 ・ 本文中の禁止事項に禁止マーク(丸に斜線)の図記号を表示。

No.	年 月 日	内 容
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.2.1 「設置条件」の「警告 ApresiaLightGS128/152GT-SS を縦置きで使用しないでください。」を削除。 ・ 3.2.8 「専用マグネットシートによる設置」を追加。
E	2020年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.4.2 別売り品の情報に壁面取付金具を追加 ・ 2.5 「各部の名称と機能」サイドパネルのネジ穴の説明に、壁面取付金具の取付用であることを追加。 ・ 図 2-2、図 2-6、図 2-10、図 2-14、図 2-18、図 2-22、図 3-12、図 4-3 の型式ラベルのレーザー安全性表記を修正。 ・ 3.2 安全に関する注意事項の記述に、「警告」「注意」が表記されている場合とされていない場合があるため、全て表記なしに統一 ・ 3.2.1 「設置条件」の「警告 ApresiaLightGS128/152GT-SS を縦置きで使用しないでください。」をD版で削除していなかったため削除。 ・ 3.2.7 壁面設置方法に壁面取付金具の説明を追加。 ・ 3.2.8 「通信ポートが上向きとなる設置はしないでください。本装置の予期しない動作や故障の原因となります。」「ApresiaLightGS120/128GT-SS を、側面の通風孔が上または下になる向きで設置しないでください」「ApresiaLightGS120/128GT-PoE を、本体側面のファンが上または下になる向きで設置しないでください。」を追加。
F	2020年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.4.2 (6)壁面取付金具 補足説明追記 ・ 2.1 表 2-1 *1) 注記追加 ・ 2.3.1 表 2-3、2.3.2 表 2-4 消費電力関連仕様値変更 ・ 2.3.1 表 2-3、2.3.2 表 2-4 騒音特性記載内容変更 ・ 2.3.1 表 2-3 *3)、2.3.2 表 2-4 *1) 注記追加 ・ 2.6.1 表 2-35、2.6.2 表 2-36 SFP 追加 ・ 3.5.2 表 3-3 SFP 追加
G	2020年4月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.7.1 注記追加 ・ 3.3 警告文削除
H	2024年3月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ APLGS120/128/152GTSS2 の情報追加 ・ APLGS110/120/128GTPOE2 の情報追加 ・ 1.3 特徴削除 ・ 1.3.1 1.3.2 表のフォーマット改訂 ・ 2.1 2.2 2.3 削除（標準仕様書へ統合） ・ 表 2-36、2.6.2 表 2-37 表記変更「1000BASE-BX20 SFP」→「1GbE-BX20 SFP」 ・ 2.7.2 注記追加 ・ 基本仕様/機能仕様を巻末の仕様概要に集約

はじめに

この度は、イーサネットスイッチ ApresiaLightGS シリーズをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。お使いになる前に、本書をよくお読みください。また、お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

本書は、本シリーズを正しくご利用頂く上で必要な本装置の機能説明および操作方法について記述してあります。本装置のソフトウェアに関する設定や表示方法については、別冊ユーザズガイドを参照してください。



警告

本装置には、お客様がカバーを開けて作業する項目はありません。感電する恐れがありますのでカバーを絶対開けないでください。



警告

本装置のネジ穴/貫通穴は、本装置の付属品/別売品用に設計されています。感電や火災の原因の恐れがありますので、本装置のネジ穴/貫通穴はこれ以外の用途に使用しないでください。



警告

電源が入っているとき、光ポート及びそれに接続されている光ファイバーの終端を直視しないでください。目に損傷を与える恐れがあります。

【本書をお読みになる前の注意事項】

電波障害自主規制

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

使用環境のご注意

医療機器や兵器システムの制御など直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途に使用されるよう設計・製造されたものではありません。そのような用途には使用しないでください。使用される場合、当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

輸出する際のご注意

本装置は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本装置は日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本装置に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

セキュリティーに関するご注意事項

本製品は電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等)の通信回線(公衆無線 LAN を含む)に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。

使用上のご注意

- ・ 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本装置は、一般事務用、パーソナル用などの一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、医療機器、原子力設備、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用しないでください。

【ご注意】

- ・ 本書は APRESIA Systems (株) が著作権を保有しています。
- ・ 内容を無断で転載したり、複製したりすることは固くお断り致します。
- ・ 本書の内容については、改良のため予告なく変更することがあります。

目次

はじめに	3
1. ご使用の前に	11
1.1 本書の位置づけ	11
1.2 マニュアル分類	11
1.3 構成部品	12
1.3.1 同梱品	12
1.3.2 別売り品	14
2. 本装置の仕様	16
2.1 各部の名称と機能	16
2.1.1 ApresiaLightGS110GT-SS	16
2.1.2 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2	20
2.1.3 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2	24
2.1.4 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2	28
2.1.5 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2	32
2.1.6 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2	37
2.1.7 ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2	42
3. 設置および接続	47
3.1 接続ケーブルの準備	47
3.2 本装置の設置	48
3.2.1 設置条件	48
3.2.2 ラックへの取り付け方法	50
3.2.3 AC電源コードストッパーの取り付け方法	52
3.2.4 壁掛け用ネジによる設置方法	53
3.2.5 マグネットによる設置方法	54
3.2.6 筐体ゴム足の取り付け方法	55
3.2.7 壁面取付金具またはラックマウント金具による壁面設置方法	56
3.2.8 専用マグネットシートによる設置方法	59
3.3 電源の接続	61
3.4 装置起動の確認	62
3.5 周辺機器の接続	62
3.5.1 ユーザーポートの接続	62
3.5.2 SFPポートの接続	63
4. システムパラメーター設定の手順	66
4.1 パラメーター設定端末の準備	67
4.2 パラメーター設定端末の接続	67
4.2.1 パラメーター設定端末の接続	67
4.2.2 初期IPアドレス・サブネットマスクの確認	68
4.2.3 パラメーター設定端末のIPアドレス、サブネットマスクの設定	69

4.2.4 管理画面のログイン	69
5. トラブルシューティング	70
5.1 障害現象の確認	70
5.2 サポート	70
付録 仕様概要	71
ApresiaLightGS110/120/128/152GT-SS	71
ApresiaLightGS110/120/128GT-POE	72
ApresiaLightGS120/128/152GT-SS2	73
ApresiaLightGS110/120/128GT-POE2	74






安全にお取り扱いいただくために



安全に関する共通的な注意事項

下記に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、本書内の指示、手順に従って行ってください。
- 本装置や本書に表示されている注意事項は必ず守ってください。
お守りいただけない場合、人身上の傷害や本装置の破損を引き起こす恐れがあります。
- 本書に記載されている以外の操作や動作は行わないでください。
- 本装置や本書に記載されている内容について何か問題がある場合は、お買い求め先にご連絡ください。
- 本装置や本書に表示されている注意事項は、十分に検討されたものでありますが、それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。作業にあたっては、単に指示に従うだけでなく常に自分自身でも注意するようにしてください。
- 安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって示されます。これは「警告」および「注意」という見出し語と注意シンボルを組み合わせたものです。

 警告	死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。
 注意	軽度の傷害、あるいは本装置の重大な損傷を引き起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。
	この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、そこに記述されている事柄が安全に関するものであることを示し、注目させる為に用いられます。
	この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止するために用いられます。
	この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、製品の取扱いにおいて、その行為を強制するために用いられます。



ふたを開けない

本装置のふた(カバー)は絶対開けないでください。感電する恐れがあります。また、故障の原因となります。

異常発生時は使わないこと

万一、煙が出ている、異臭がする、異音がするなどの異常状態の場合、直ちに電源供給を停止してください。感電や火災の恐れがあります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認して、お買い求めの販売店もしくは販売元へご連絡ください。お客様による修理は、危険のため、絶対にお止めください。

分解禁止

本装置を分解・改造しないでください。また異常発生時、お客様自身で修理することも絶対にお止めください。感電や火災、装置の故障の恐れがあります。

接続コードに傷を付けないこと

接続コードを傷つけたり、加工したり、引っ張ったりしないでください。感電や火災の恐れがあります。

コードのプラグはしっかり差し込むこと

各コードは指定されたものを使用し、プラグは根元までしっかりと差し込んでください。差し込み不足の場合、感電や火災の恐れがあります。

電源コードを正しく接続すること

電源コードを差し込むとき、抜くときは必ずプラグを持って行ってください。接触不良などで感電や火災の原因となることがあります。

濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

異物を入れないこと

本装置の通風孔やコネクター部分にピンなどの金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

火災、感電の恐れがあります。万一、本装置に異物が入った場合にはお買い求めの販売店もしくは販売元へご連絡ください。

プラグの掃除をすること

電源コードを接続する際にはプラグ部分にほこりが付着していないことを事前に確認してください。ほこりの付着による感電や火災の原因となることがあります。

雷発生時には装置に触らないこと

雷発生時は本装置やケーブル類に触らないでください。感電の恐れがあります。

電源コードは必ず添付品を使用すること

本装置使用の際は、必ず添付の電源コードを使用してください。指定外の電源コードを使用した場合、コードが異常発熱、発火する恐れがあります。

使わないときは電源プラグを抜く

夏季休暇など長時間ご使用にならないときは、安全の為必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。使用していないときも通電しているため、火災の原因となります。

水に濡らさない

本装置を水に濡らさないでください。また、花びんやコップなど、水や薬品類の入った容器を装置の上に置かないでください。感電や火災、故障の恐れがあります。万一、水などが本装置にかかった場合には、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因になります。

通風を妨げない

通風孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い所に置いたり、物を置いたり立てかけたりして通風孔を塞がないでください。内部の温度が上昇すると故障や火災の原因となります。



指定外の電源電圧では使用しない

指定の電源電圧以外では絶対に使用しないでください。感電や火災、装置の故障の恐れがあります。

ApresiaLight	AC100～120V/AC200～240V
GS シリーズ	±10% (47～63Hz)

タコ足配線禁止

電源コードの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。感電や火災の恐れがあります。

装置の上に乗ったり物を載せたりしないこと

本装置の上に乗ったり、本装置の上に物を載せたりしないでください。転倒、落下によるケガや本装置の故障の原因になることがあります。

電源コードが傷んだときはコンセントから抜くこと

電源コードが傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。抜かないと感電や火災の原因となる場合があります。

破損したときはコンセントから抜くこと

万一、本装置を落としたりして、破損させた場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

不安定な設置をしないこと

本装置を不安定な状態で設置しないでください。また、不安定な場所に設置しないでください。本装置の転倒や落下によるケガや機器の故障の恐れがあります。

無理な力を加えない

コネクタ部には、無理な力を加えたり、金属で触れたりしないでください。故障や破損の原因となります。

移動時はコードを抜くこと

本装置を移動させる場合は、必ず電源コードをコンセントから抜き、全ての接続コードを外した状態で行ってください。電源コードや接続コードに引っ掛かってつまずいたり物が落下するなどしてケガの原因となります。

運搬について

本装置を運搬する際は、落下・転倒しないように十分気をつけてください。本装置の故障やケガの原因となります。

環境の悪いところに置かない

下記のような環境では、本装置を保管、使用しないでください。本装置の寿命の低下や故障の原因となります。

- ・ 電車などの車両への搭載
- ・ 振動が連続する場所
- ・ 屋外環境
- ・ 温泉地など腐食性ガスの発生する環境
- ・ 結露が発生する環境
- ・ 発熱機器の近く
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 機器同士が密接する環境
- ・ 塩害地域(海岸の近くなど)
- ・ 殺虫剤や消毒剤など薬液のかかる可能性のある環境
- ・ 装置および装置周辺に埃がたまりやすい環境
- ・ 電氣的ノイズを発生する機器の近く
- ・ 強電界を発生する機器の近く

電波障害について

他のエレクトロニクス製品に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合雑音が入ることがあります。その場合は、次のような対策を講じてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- ・ コンセントを別にする



静電気について

本装置は静電気に敏感な部品を使用しております。人体にも静電気が帯電することがあります。静電気による故障や誤動作を防ぐため機器設置時及びツイストペアケーブル接続時に下記の点に留意して取扱ってください。

- ・ 事前に導電性のものに触れる。
- ・ 本装置に接続されているツイストペアケーブルの解放側モジュラープラグ端子導体近傍に触れない。
- ・ 本装置及びアースが必要な周辺機器はアースを取る。
- ・ ツイストペアケーブルの敷設や移動をした場合はケーブルの除電を確認した後で本装置に接続する。

廃棄について

本装置を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

譲渡について

本装置を譲渡する際は、本装置の安全上のご注意事項も添付して譲渡してください。

1. ご使用の前に

1.1 本書の位置づけ

本書は、ApresiaGS シリーズの以下の機種について、ハードウェアの説明と、設置から基本的なシステムパラメーター設定の手順までを説明しています。

表 1-1 本書適用の機種一覧

シリーズ名	品名	型式
ApresiaLightGS シリーズ	ApresiaLightGS110GT-SS	APLGS110GTSS
	ApresiaLightGS120GT-SS	APLGS120GTSS
	ApresiaLightGS128GT-SS	APLGS128GTSS
	ApresiaLightGS152GT-SS	APLGS152GTSS
	ApresiaLightGS120GT-SS2	APLGS120GTSS2
	ApresiaLightGS128GT-SS2	APLGS128GTSS2
	ApresiaLightGS152GT-SS2	APLGS152GTSS2
	ApresiaLightGS110GT-PoE	APLGS110GTPOE
	ApresiaLightGS120GT-PoE	APLGS120GTPOE
	ApresiaLightGS128GT-PoE	APLGS128GTPOE
	ApresiaLightGS110GT-PoE2	APLGS110GTPOE2
	ApresiaLightGS120GT-PoE2	APLGS120GTPOE2
	ApresiaLightGS128GT-PoE2	APLGS128GTPOE2

1.2 マニュアル分類

マニュアルの分類を表 1-2 に記載します。

表 1-2 マニュアル分類

名称	概要
ハードウェアマニュアル(本書)	ハードウェアの説明、設置、設定
ユーザーズガイド	Web ブラウザーで表示する管理画面の操作に関する説明
ファームウェアリリースノート	ファームウェアに関しての重要な情報

各種ドキュメントは当社ホームページからダウンロードできます。


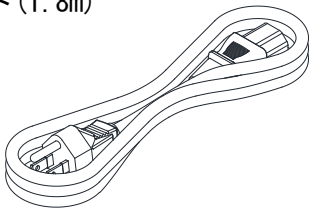
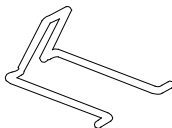
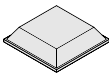
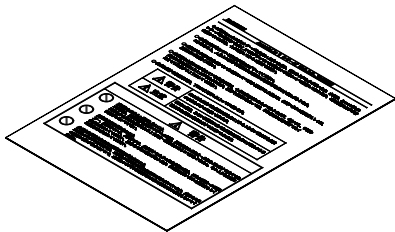
<https://www.apresia.jp/products/apresialight/manual.html>

1.3 構成品

1.3.1 同梱品

ApresiaLightGS シリーズには、表 1-3 の内容の物が同梱されています。不足品がないか確認してください。

表 1-3 同梱品一覧

全機種共通	
<p>● スイッチ本体</p> 	<p>(写真は APLGS110GTSS)</p>
<p>● AC 電源コード(1.8m)</p> 	<p>プラグの形状は接地付 2 極 (NEMA 5-15P) です。 取り付け方法は 3.3 項を参照ください。</p>
<p>● AC 電源コードストッパー</p> 	<p>本体から AC 電源コードが抜けるのを防ぐために使用します。 取り付け方法は 3.2.3 項を参照ください。</p>
<p>● ゴム足 4 個</p> 	<p>本装置を卓上に横置きした時の、滑り止め、防振、緩衝に使用します。 取り付け方法は 3.2.6 項を参照ください。</p>
<p>● 安全上のご注意事項</p> 	<p>本装置を安全にお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。</p>

<p>● ラックマウント金具(EIA 規格ワイドピッチ) 2 個</p> 	<p>本装置を EIA 規格 19 インチラックに設置するための金具です。 取り付け方法は 3.2.2 項を参照ください。 ※APLGS110GTSS には同梱されておりません。</p>
<p>● ラックマウント金具本体取付用ねじ 8 個 (M3 平皿ねじ、長さ 6mm)</p>	<p>ラックマウント金具を本体に取り付けるためのねじです。 ※APLGS110GTSS には同梱されておりません。</p>

1.3.2 別売り品

AprasiaLightGS シリーズの別売り品を表 1-4 に記載します。必要に応じて購入してください。

表 1-4 別売り品一覧

品名	型式	APLGS110GTSS	APLGS120GTSS/SS2	APLGS128GTSS/SS2	APLGS152GTSS/SS2	APLGS110GTPOE/POE2	APLGS120GTPOE/POE2	APLGS128GTPOE/POE2
説明								
専用マグネットシート	AL-MGST-L01			●	●		●	●
本装置を鉄板面に固定するためのマグネットシートです。取り付け方法は 3.2.8 項を参照ください。								
壁面取付金具	AL-WM-GS	●	●	●	●	●	●	●
本装置を壁面に設置するための金具です。*2) 取り付け方法は 3.2.7 項を参照ください。								
SFP モジュール (1000BASE-SX 用)	H-SX-SFP/R	●	●	●	●	●	●	●
SFP モジュール (1000BASE-LX 用)	H-LX-SFP/R	●	●	●	●	●	●	●
SFP モジュール *1) (1GbE-BX10)	H-BX10-SFP/I-U	●	●	●	●	●	●	●
	H-BX10-SFP/I-D	●	●	●	●	●	●	●
SFP モジュール *1) (1GbE-BX20)	H-BX20-SFP/I-U	●	●	●	●	●	●	●
	H-BX20-SFP/I-D	●	●	●	●	●	●	●
SFP モジュール(1000BASE-T)	H-T-SFP/R-A	●				●		
AC200V 用電源コード (NEMA L6-20)	HC-PC200V-L6-20	●	●	●	●	●	●	●
本装置を AC200V で使用するための NEMA L6-20 型の電源コードです。								
AC200V 用電源コード(C14)	HC-PC200V-C14	●	●	●	●	●	●	●
本装置を AC200V で使用するための NEMA C14 型の電源コードです。								
AC100V 用電源コード(L 型)	HC-PC100V-L	●	●	●	●	●	●	●
装置側コネクタが L 型の AC100V 電源コードです。背面のスペースが無い場合などに使用します。								

*1) オートネゴシエーション(1000Mbps)のみのサポートとなります

*2) 下記を参考にしてお使いください。

- APLGS120GTSS/SS2、APLGS128GTSS/SS2、APLGS152GTSS/SS2 の場合

付属するラックマウント金具を用いて壁面取り付けすることはできません。本別売り品をご使用ください。

- APLGS110GTPOE/POE2 の場合

付属するラックマウント金具を用いて壁面取り付けできます。設置面積を広く確保できない場合は本別売り品をご使用ください。

- APLGS120GTPOE/POE2、APLGS128GTPOE/POE2 の場合

付属するラックマウント金具を用いて壁面取り付けできます。付属品と本別売り品は同一品です。



マグネットやマグネットシートは装置の完全な固定を目的としていません。落下の恐れがある場所には設置しないでください。



別売り品をサポート対象の機器以外には使用しないでください。落下や損傷の恐れがあります。



AC100V 電源コード(L 型)を使用する場合、AC 電源コードストッパーは使用できません。使用時は電源コードが横方向に出るため、隣り合う装置や各種インターフェースとの干渉にご注意ください。

2. 本装置の仕様

2.1 各部の名称と機能

2.1.1 ApresiaLightGS110GT-SS

2.1.1.1 フロントパネル

ApresiaLightGS110GT-SS のフロントパネルの構成を図 2-1 に、フロントパネル各部の名称および機能を表 2-1 に記載します。

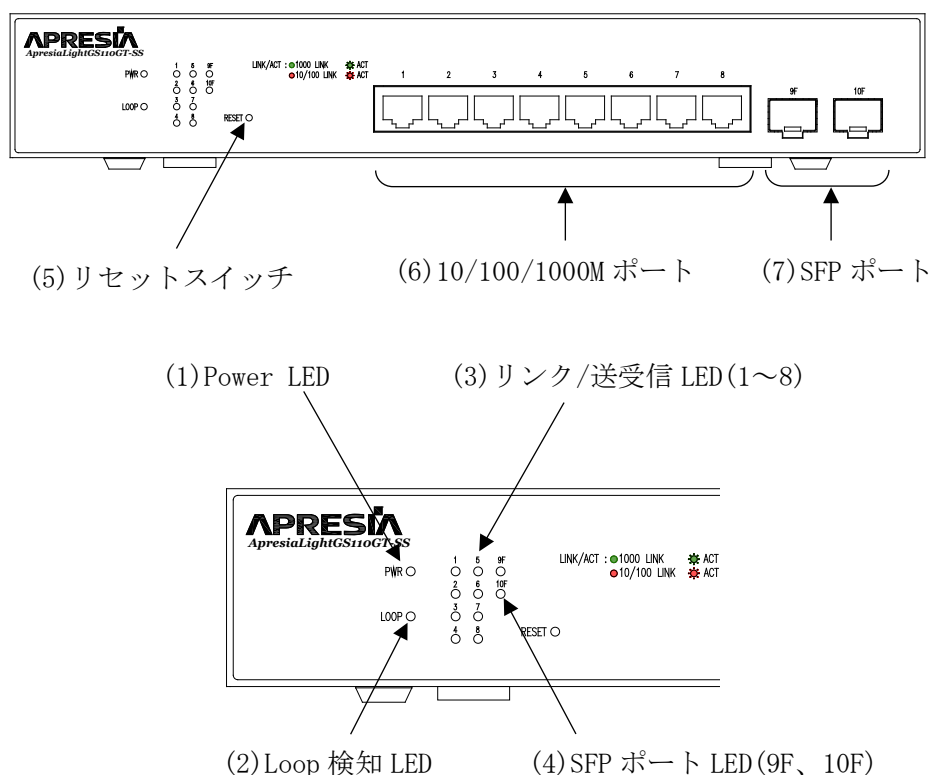


図 2-1 ApresiaLightGS110GT-SS のフロントパネルの構成

表 2-1 ApresiaLightGS110GT-SS のフロントパネル各部の名称および機能

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(1)	PWR	Power LED	緑点灯	電源が供給されている状態
			消灯	電源が供給されていない状態、もしくは電源異常の状態
(2)	LOOP	Loop 検知 LED	赤点灯	ループを検知している状態
			消灯	ループを検知していない状態
(3)	1~8	リンク/送受信 LED	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
			緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			橙点灯	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立している状態

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
			橙点滅	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			消灯	リンクが確立していない状態
(4)	9F, 10F	SFP ポート LED	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
			緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			消灯	リンクが確立していない状態
(5)	RESET	リセットスイッチ	-	装置を再起動するプッシュスイッチ 1～5 秒押下:装置リブート 5 秒を超えて押下:工場出荷状態に戻しリブート
(6)	1～8	10/100/1000Mポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(7)	9F, 10F	SFP ポート	-	SFP ポート使用時は対応した SFP モジュールを装着してください。

2.1.1.2 リアパネル

ApresiaLightGS110GT-SS のリアパネルの構成を図 2-2 に、リアパネル各部の名称および機能を表 2-2 に記載します。

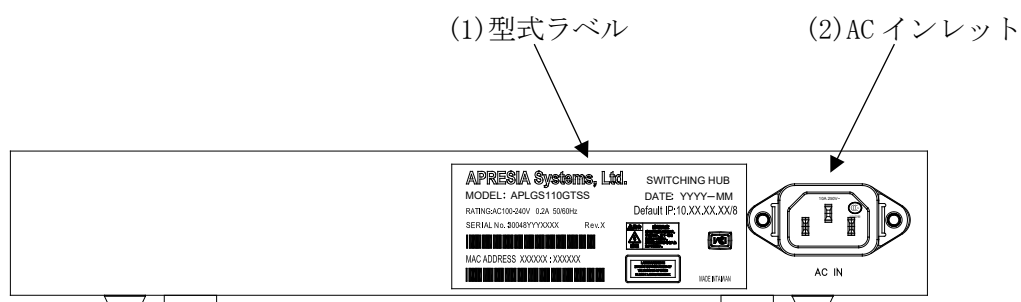


図 2-2 ApresiaLightGS110GT-SS のリアパネルの構成

表 2-2 ApresiaLightGS110GT-SS のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	型式ラベル	製造元情報表示、型式表示、製造年月表示、定格表示、製造番号表示、VCCI 適合表示
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクタです。本装置には電源スイッチはありません。電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.1.1.3 ボトムパネル

ApresiaLightGS110GT-SS のボトムパネルの構成を図 2-3 に、ボトムパネル各部の名称および機能を表 2-3 に記載します。

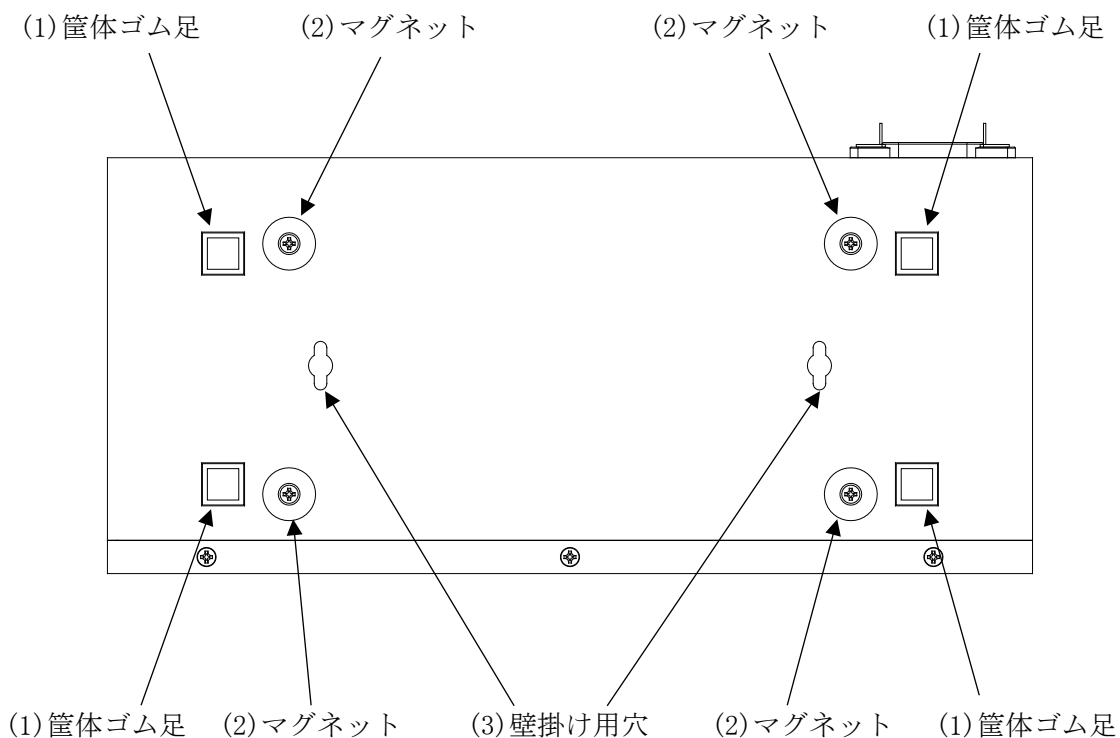


図 2-3 ApresiaLightGS110GT-SS のボトムパネルの構成

表 2-3 ApresiaLightGS110GT-SS のボトムパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	筐体ゴム足	筐体の滑り止めです。筐体にあらかじめ取り付けられています。取り外さないでください。
(2)	マグネット	筐体の縦置きに使用するマグネットです。筐体にあらかじめ取り付けられています。取り外さないでください。
(3)	壁掛け用穴	筐体を壁掛けするためのトラス小ネジの頭を挿入する穴です。

2.1.1.4 サイドパネル

ApresiaLightGS110GT-SS のサイドパネルの構成を図 2-4 に、サイドパネル各部の名称および機能を表 2-4 に記載します。

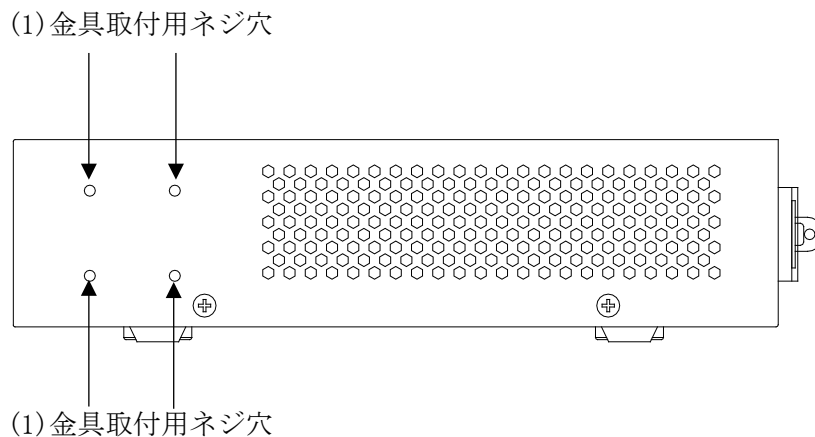


図 2-4 ApresiaLightGS110GT-SS のサイドパネルの構成

表 2-4 ApresiaLightGS110GT-SS のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	金具取付用ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。 両サイドに設けられています。

2.1.2 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2

2.1.2.1 フロントパネル

ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のフロントパネルの構成を図 2-5 に、フロントパネル各部の名称および機能を表 2-5 に記載します。

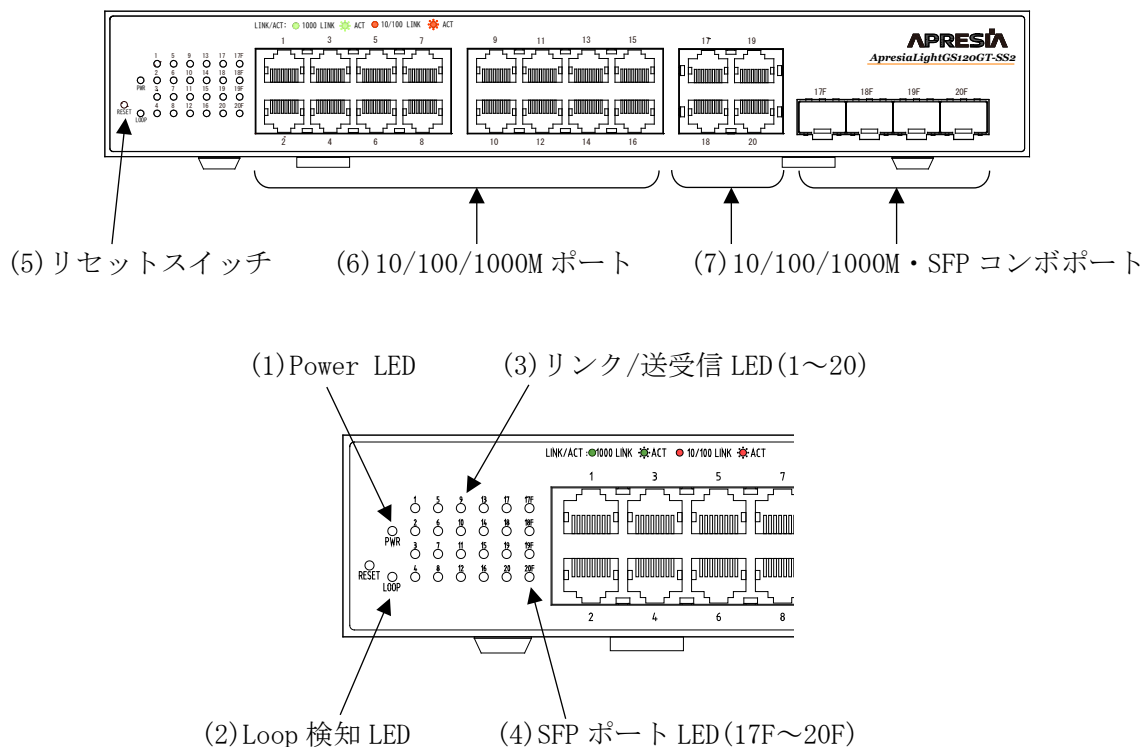


図 2-5 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のフロントパネルの構成

表 2-5 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のフロントパネル各部の名称および機能

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(1)	PWR	Power LED	緑点灯	電源が供給されている状態
			消灯	電源が供給されていない状態、もしくは電源異常の状態
(2)	LOOP	Loop 検知 LED	赤点灯	ループを検知している状態
			消灯	ループを検知していない状態
(3)	1~20	リンク/送受信 LED	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
			緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			橙点灯	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立している状態
			橙点滅	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			消灯	リンクが確立していない状態

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(4)	17F~20F	SFP ポート LED	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
			緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			消灯	リンクが確立していない状態
(5)	RESET	リセットスイッチ	-	装置を再起動するプッシュスイッチ 1~5 秒押下:装置リブート 5 秒を超えて押下:工場出荷状態に戻しリブート
(6)	1~16	10/100/1000Mポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(7)	17~20、 17F~20F	10/100/1000M・SFP コンボポート	-	10/100/1000BASE-T ポートまたは SFP ポートのどちらかを選択して使用可能なコンボポート。 SFP ポート使用時は対応した SFP モジュールを装着してください。

2.1.2.2 リアパネル

ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のリアパネルの構成を図 2-6 に、リアパネル各部の名称および機能を表 2-6 に記載します。

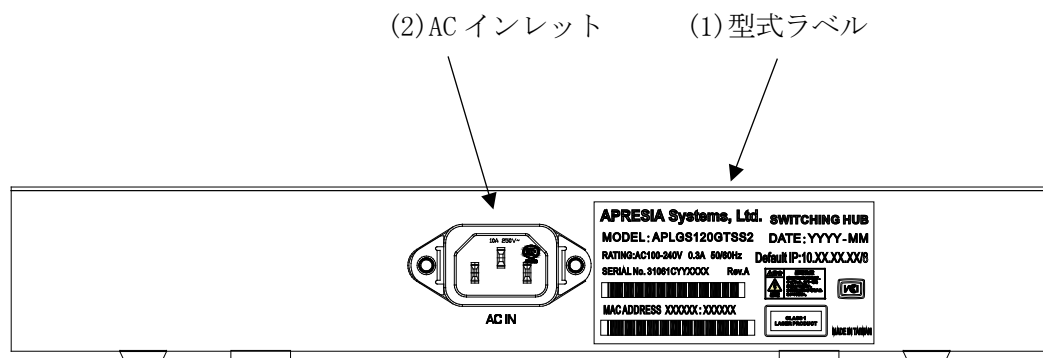


図 2-6 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のリアパネルの構成

表 2-6 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	型式ラベル	製造元情報表示、型式表示、製造年月表示、定格表示、製造番号表示、VCCI 適合表示
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクタです。本装置には電源スイッチはありません。電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.1.2.3 ボトムパネル

ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のボトムパネルの構成を図 2-7 に、ボトムパネル各部の名称および機能を表 2-7 に記載します。

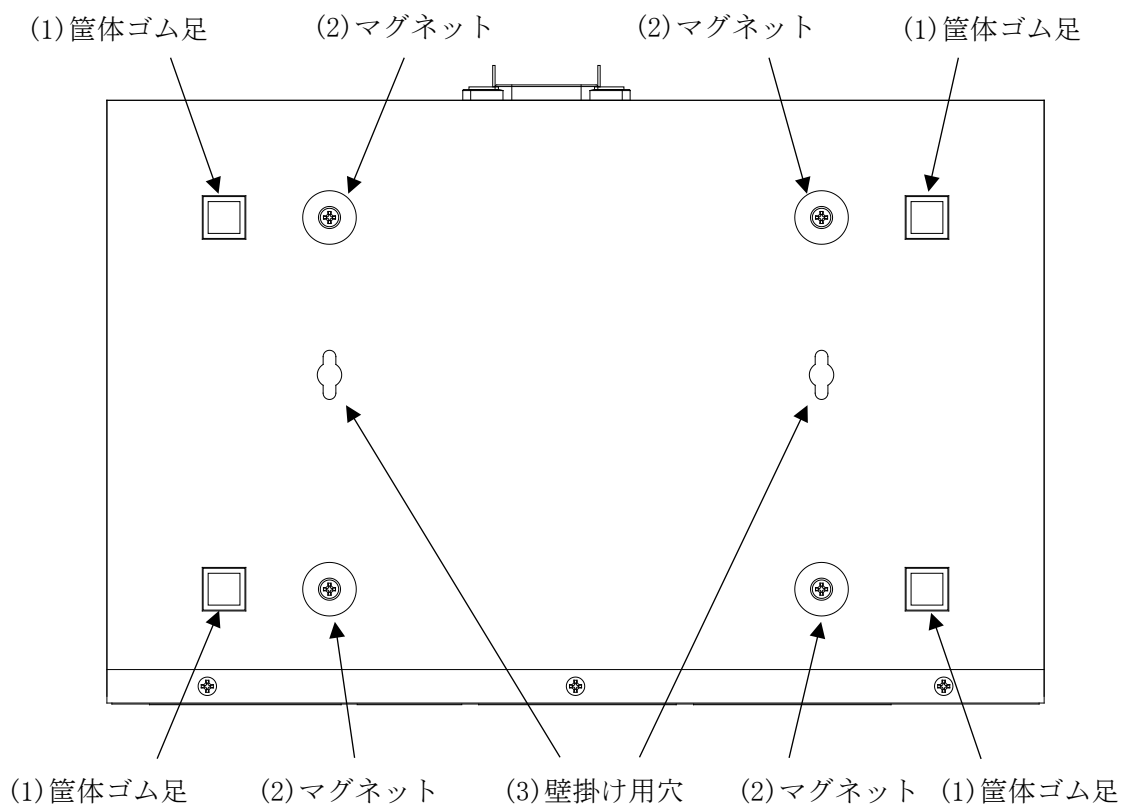


図 2-7 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のボトムパネルの構成

表 2-7 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のボトムパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	筐体ゴム足	筐体の滑り止めです。筐体にあらかじめセットされています。取り外さないでください。
(2)	マグネット	筐体の壁面取り付けに使用するマグネットです。筐体にあらかじめセットされています。取り外さないでください。
(3)	壁掛け用穴	筐体を壁掛けするためのトラス小ネジの頭を挿入する穴です。

2.1.2.4 サイドパネル

ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のサイドパネルの構成を図 2-8 に、サイドパネル各部の名称および機能を表 2-8 に記載します。

(1) 金具取付用ネジ穴

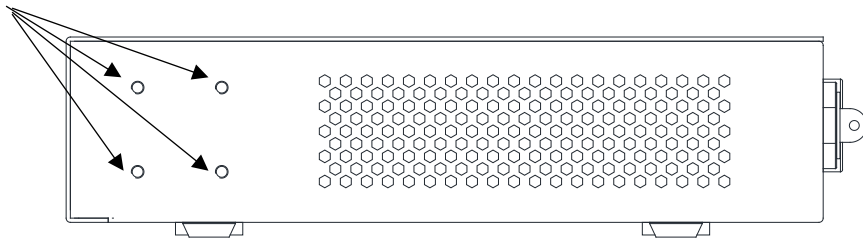


図 2-8 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のサイドパネルの構成

表 2-8 ApresiaLightGS120GT-SS/SS2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	金具取付用ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。 両サイドに設けられています。

2.1.3 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2

2.1.3.1 フロントパネル

ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のフロントパネルの構成を図 2-9 に、フロントパネル各部の名称および機能を表 2-9 に記載します。

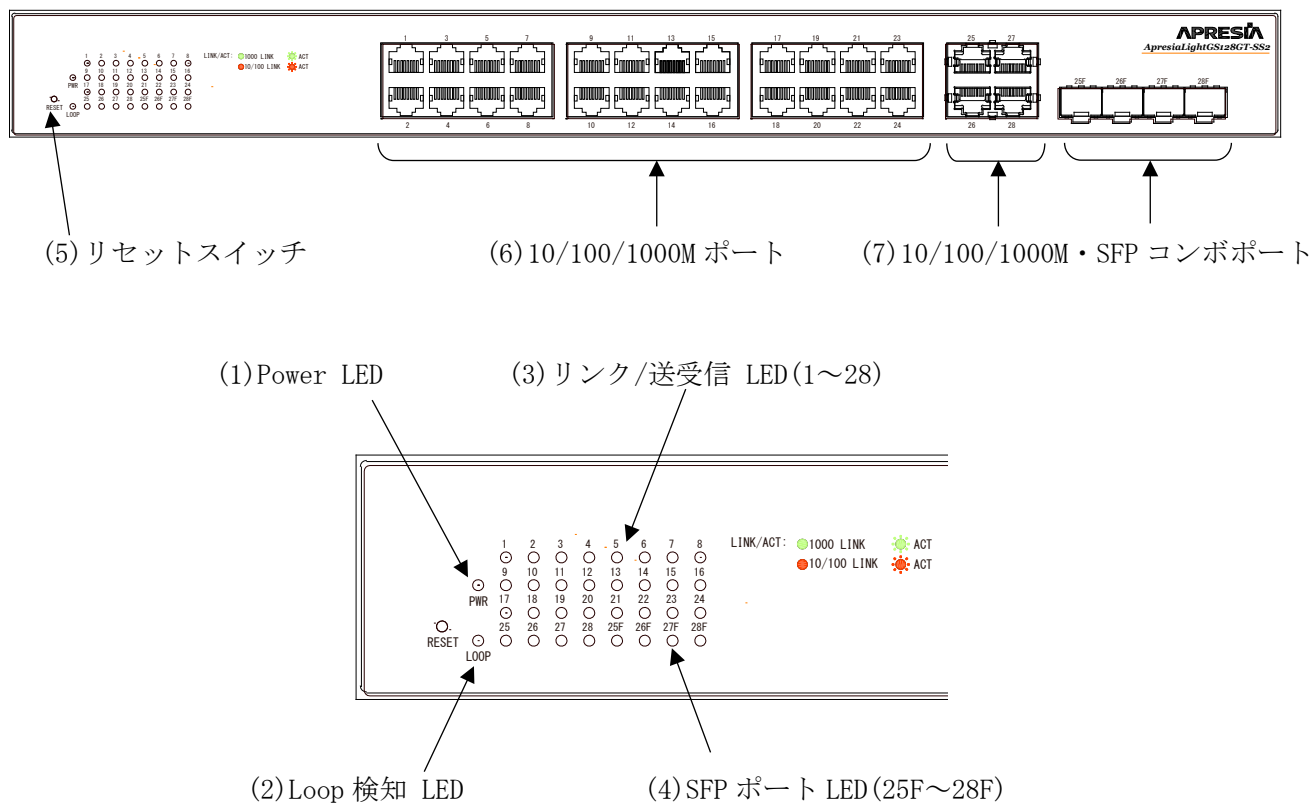


図 2-9 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のフロントパネルの構成

表 2-9 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のフロントパネル各部の名称および機能

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(1)	PWR	Power LED	緑点灯	電源が供給されている状態
			消灯	電源が供給されていない状態、もしくは電源異常の状態
(2)	LOOP	Loop 検知 LED	赤点灯	ループを検知している状態
			消灯	ループを検知していない状態
(3)	1 ~ 28	リンク/送受信 LED	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
			緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			橙点灯	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立している状態
			橙点滅	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			消灯	リンクが確立していない状態

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(4)	25F～28F	SFP ポート LED	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
			緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			消灯	リンクが確立していない状態
(5)	RESET	リセットスイッチ	-	装置を再起動するプッシュスイッチ 1～5 秒押下: 装置リブート 5 秒を超えて押下: 工場出荷状態に戻しリブート
(6)	1～24	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(7)	25～28、 25F～28F	10/100/1000M・ SFP コンボポート	-	10/100/1000BASE-T ポートまたは SFP ポートのどちらかを選択して使用可能なコンボポート。 SFP ポート使用時は対応した SFP モジュールを装着してください。

2.1.3.2 リアパネル

ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のリアパネルの構成を図 2-10 に、リアパネル各部の名称および機能を表 2-10 に記載します。



図 2-10 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のリアパネルの構成

表 2-10 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	型式ラベル	製造元情報表示、型式表示、製造年月表示、定格表示、製造番号表示、VCCI 適合表示
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクタです。本装置には電源スイッチはありません。電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.1.3.3 ボトムパネル

ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のボトムパネルの構成を図 2-11 に、ボトムパネル各部の名称および機能を表 2-11 に記載します。

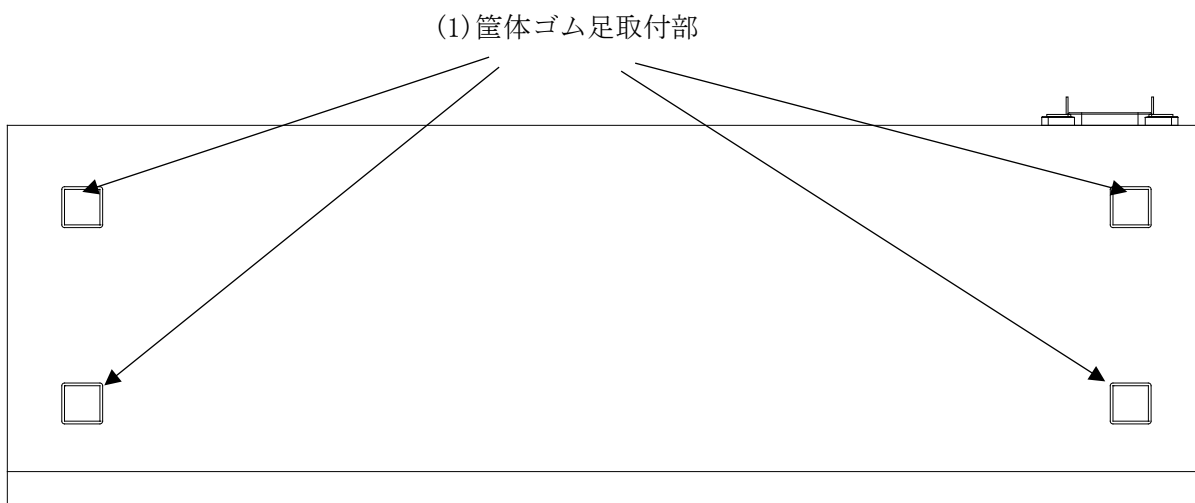


図 2-11 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のボトムパネルの構成

表 2-11 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のボトムパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	筐体ゴム足取付部	付属品のゴム足を取り付けるための部分です。ゴム足の取り付け方法は「3.2.6 筐体ゴム足の取り付け方法」をご確認ください。

2.1.3.4 サイドパネル

ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のサイドパネルの構成を図 2-12 に、サイドパネル各部の名称および機能を表 2-12 に記載します。

(1) 金具取付用ネジ穴

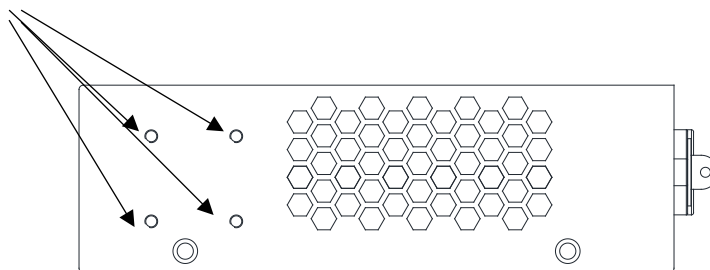


図 2-12 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のサイドパネルの構成

表 2-12 ApresiaLightGS128GT-SS/SS2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	金具取付用ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。 両サイドに設けられています。

2.1.4 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2

2.1.4.1 フロントパネル

ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のフロントパネルの構成を図 2-13 に、フロントパネル各部の名称および機能を表 2-13 に記載します。

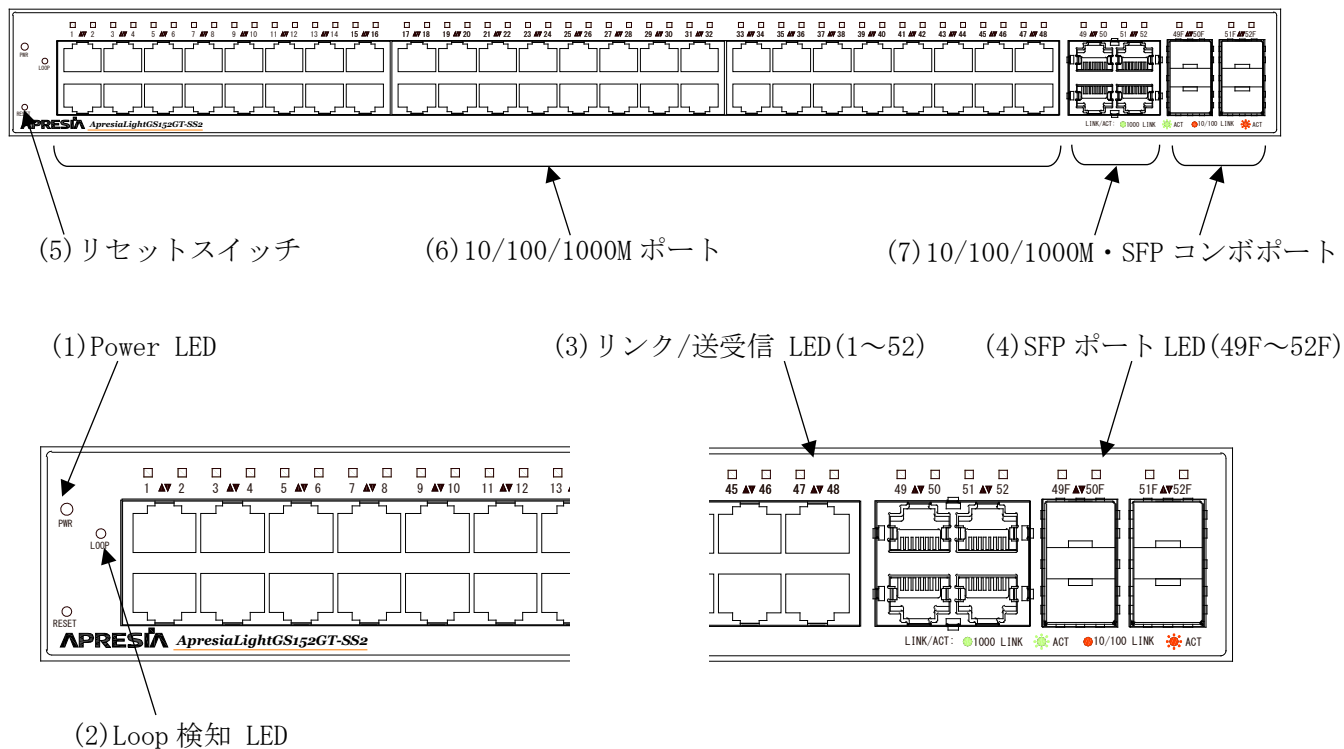


図 2-13 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のフロントパネルの構成

表 2-13 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のフロントパネル各部の名称および機能

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(1)	PWR	Power LED	緑点灯	電源が供給されている状態
			消灯	電源が供給されていない状態、もしくは電源異常の状態
(2)	LOOP	Loop 検知 LED	赤点灯	ループを検知している状態
			消灯	ループを検知していない状態
(3)	1~52	リンク/送受信 LED	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
			緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			橙点灯	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立している状態
			橙点滅	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			消灯	リンクが確立していない状態

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(4)	49F～52F	SFP ポート LED	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
			緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
			消灯	リンクが確立していない状態
(5)	RESET	リセットスイッチ	-	装置を再起動するプッシュスイッチ 1～5 秒押下: 装置リブート 5 秒を超えて押下: 工場出荷状態に戻しリブート
(6)	1～48	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(7)	49～52、 49F～52F	10/100/1000M・SFP コンボポート	-	10/100/1000BASE-T ポートまたは SFP ポートのどちらかを選択して使用可能なコンボポート。 SFP ポート使用時は対応した SFP モジュール を装着してください。

2.1.4.2 リアパネル

ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のリアパネルの構成を図 2-14 に、リアパネル各部の名称および機能を表 2-14 に記載します。



図 2-14 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のリアパネルの構成

表 2-14 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	型式ラベル	製造元情報表示、型式表示、製造年月表示、定格表示、製造番号表示、VCCI 適合表示
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクタです。本装置には電源スイッチはありません。電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.1.4.3 ボトムパネル

ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のボトムパネルの構成を図 2-15 に、ボトムパネル各部の名称および機能を表 2-15 に記載します。

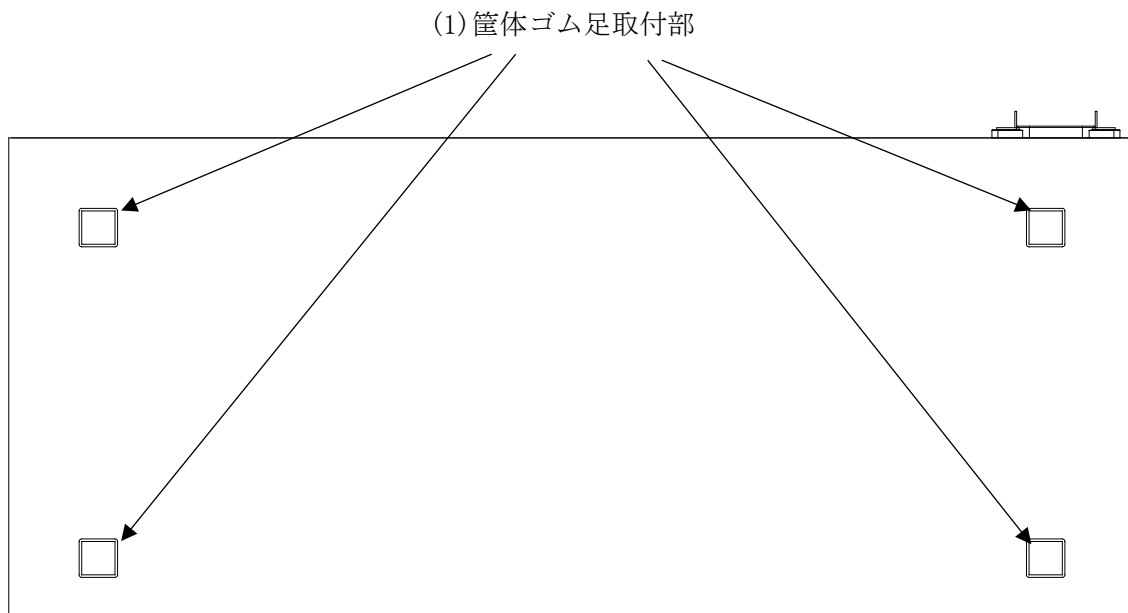


図 2-15 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のボトムパネルの構成

表 2-15 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のボトムパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	筐体ゴム足取付部	付属品のゴム足を取り付けるための部分です。ゴム足の取り付け方法は「3.2.6 筐体ゴム足の取り付け方法」をご確認ください。

2.1.4.4 サイドパネル

ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のサイドパネルの構成を図 2-16 に、サイドパネル各部の名称および機能を表 2-16 に記載します。

(1) 金具取付用ネジ穴

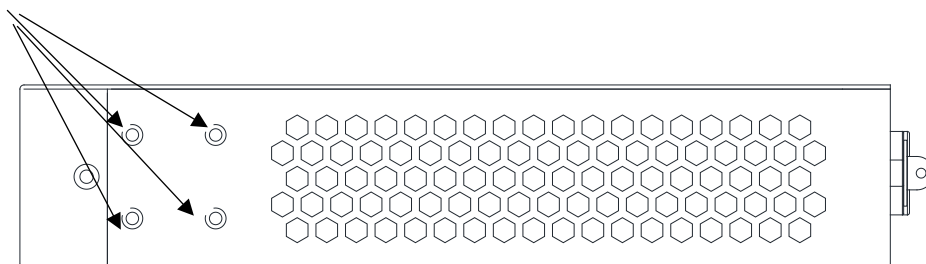


図 2-16 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のサイドパネルの構成

表 2-16 ApresiaLightGS152GT-SS/SS2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	金具取付用ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。両サイドに設けられています。

2.1.5 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2

2.1.5.1 フロントパネル

ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のフロントパネルの構成を図 2-17 に、フロントパネル各部の名称および機能を表 2-17 に記載します。

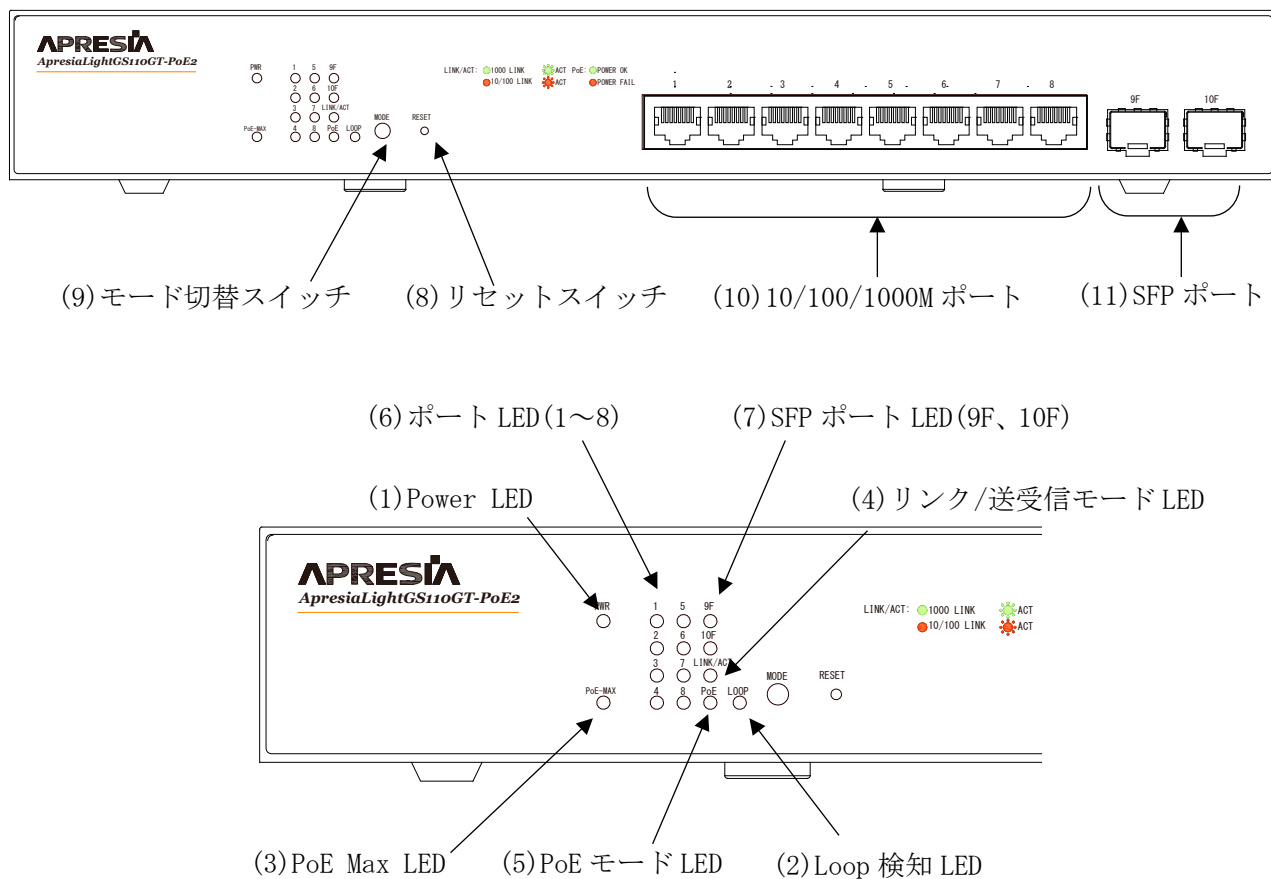


図 2-17 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のフロントパネルの構成

表 2-17 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のフロントパネル各部の名称および機能

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(1)	PWR	Power LED	緑点灯	電源が供給されている状態
			消灯	電源が供給されていない状態、もしくは電源異常の状態
(2)	LOOP	Loop 検知 LED	赤点灯	ループを検知している状態
			消灯	ループを検知していない状態
(3)	PoE-MAX	PoE Max LED	橙点灯	PoE 給電が装置の給電制限に達している状態
			消灯	PoE 給電が装置の給電制限に達していない状態

No.	パネル表示	名称		ステータス	説明
(4)	LINK/ACT	リンク/送受信モード LED		緑点灯	ポート LED がリンク/送受信モードの状態
				消灯	ポート LED がリンク/送受信モードではない状態
(5)	PoE	PoE モード LED		緑点灯	ポート LED が PoE モードの状態
				消灯	ポート LED が PoE モードではない状態
(6)	1~8	ポート LED	リンク/送受信モード時	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
				緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				橙点灯	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立している状態
				橙点滅	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				消灯	リンクが確立していない状態
		PoE モード時	緑点灯	PoE 給電が正常に行われている状態	
			橙点灯	PoE 給電停止または異常の状態(供給電力不足など)	
			消灯	PoE 給電停止設定または受電機器(PD)が未接続の状態	
(7)	9F, 10F	SFP ポート LED		緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
				緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				消灯	リンクが確立していない状態
(8)	RESET	リセットスイッチ		-	装置を再起動するプッシュスイッチ 1~5 秒押下:装置リブート 5 秒を超えて押下:工場出荷状態に戻しリブート
(9)	MODE	モード切替スイッチ		-	ポート LED の表示モードを切り替えるスイッチ 1 秒以上の押下により、リンク/送受信モード⇔PoE モードの切り替えを行う。(初期設定はリンク/送受信モード)
(10)	1~8	10/100/1000M ポート		-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(11)	9F, 10F	SFP ポート		-	SFP ポート使用時は対応した SFP モジュールを装着してください。

2.1.5.2 リアパネル

ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のリアパネルの構成を図 2-18 に、リアパネル各部の名称および機能を表 2-18 に記載します。

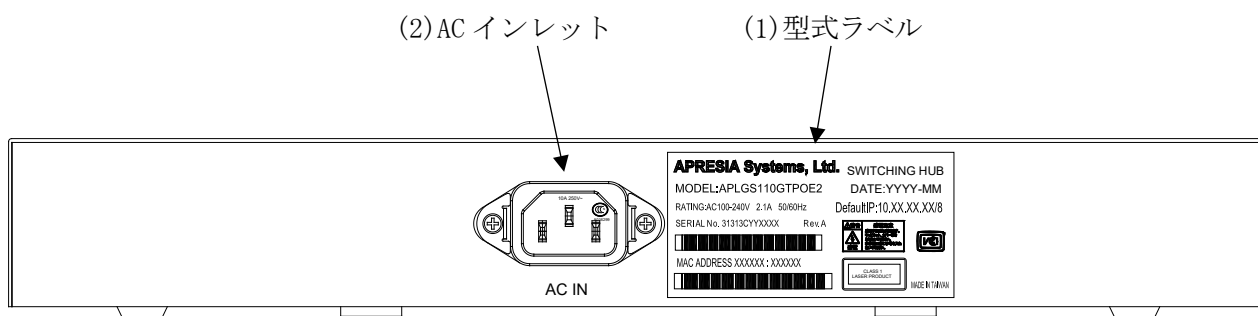


図 2-18 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のリアパネルの構成

表 2-18 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	型式ラベル	製造元情報表示、型式表示、製造年月表示、定格表示、製造番号表示、VCCI 適合表示
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクタです。本装置には電源スイッチはありません。電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.1.5.3 ボトムパネル

ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のボトムパネルの構成を図 2-19 に、ボトムパネル各部の名称および機能を表 2-19 に記載します。

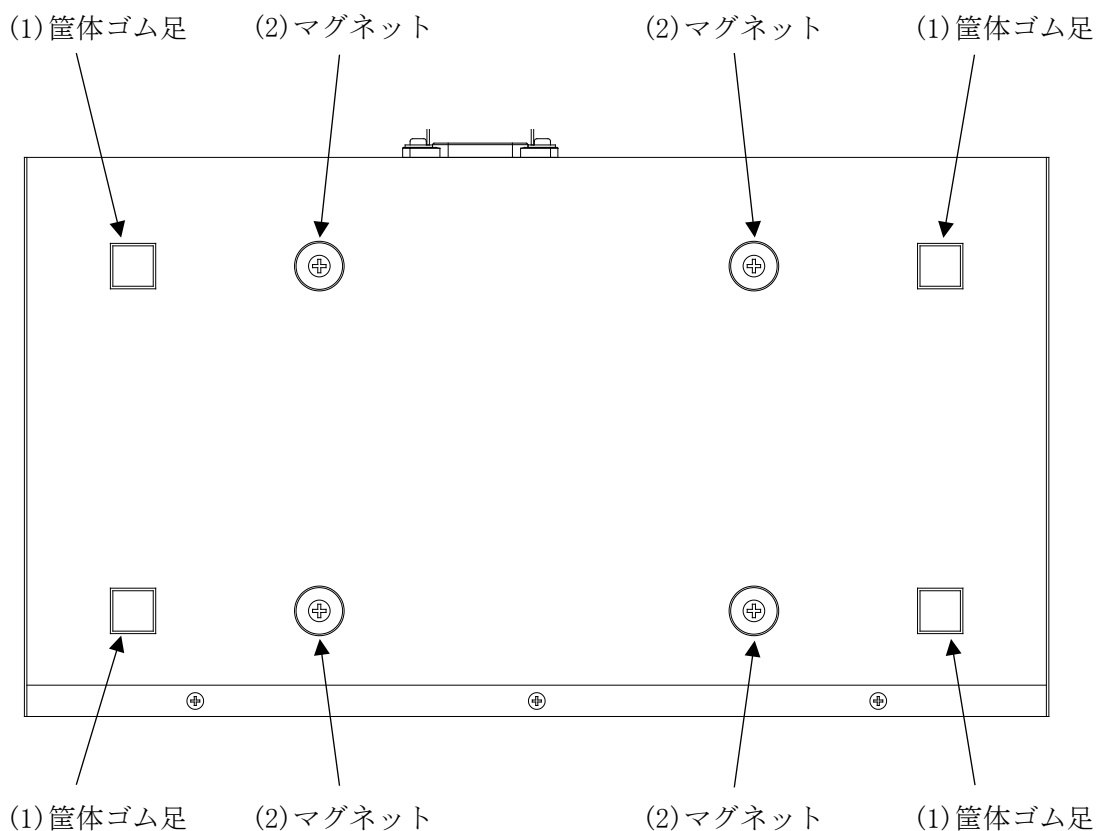


図 2-19 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のボトムパネルの構成

表 2-19 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のボトムパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	筐体ゴム足	筐体の滑り止めです。筐体にあらかじめセットされています。取り外さないでください。
(2)	マグネット	筐体の壁面取り付けに使用するマグネットです。筐体にあらかじめセットされています。取り外さないでください。

2.1.5.4 サイドパネル

ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のサイドパネルの構成を図 2-20 に、サイドパネル各部の名称および機能を表 2-20 に記載します。

(1) 金具取付用ネジ穴

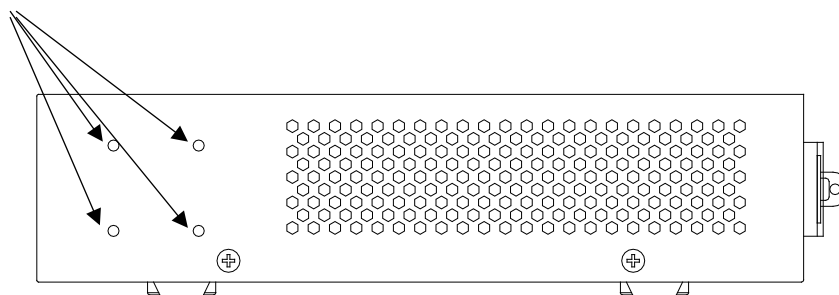


図 2-20 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のサイドパネルの構成

表 2-20 ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	金具取付用ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。 両サイドに設けられています。

2.1.6 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2

2.1.6.1 フロントパネル

ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のフロントパネルの構成を図 2-21 に、フロントパネル各部の名称および機能を表 2-21 に記載します。

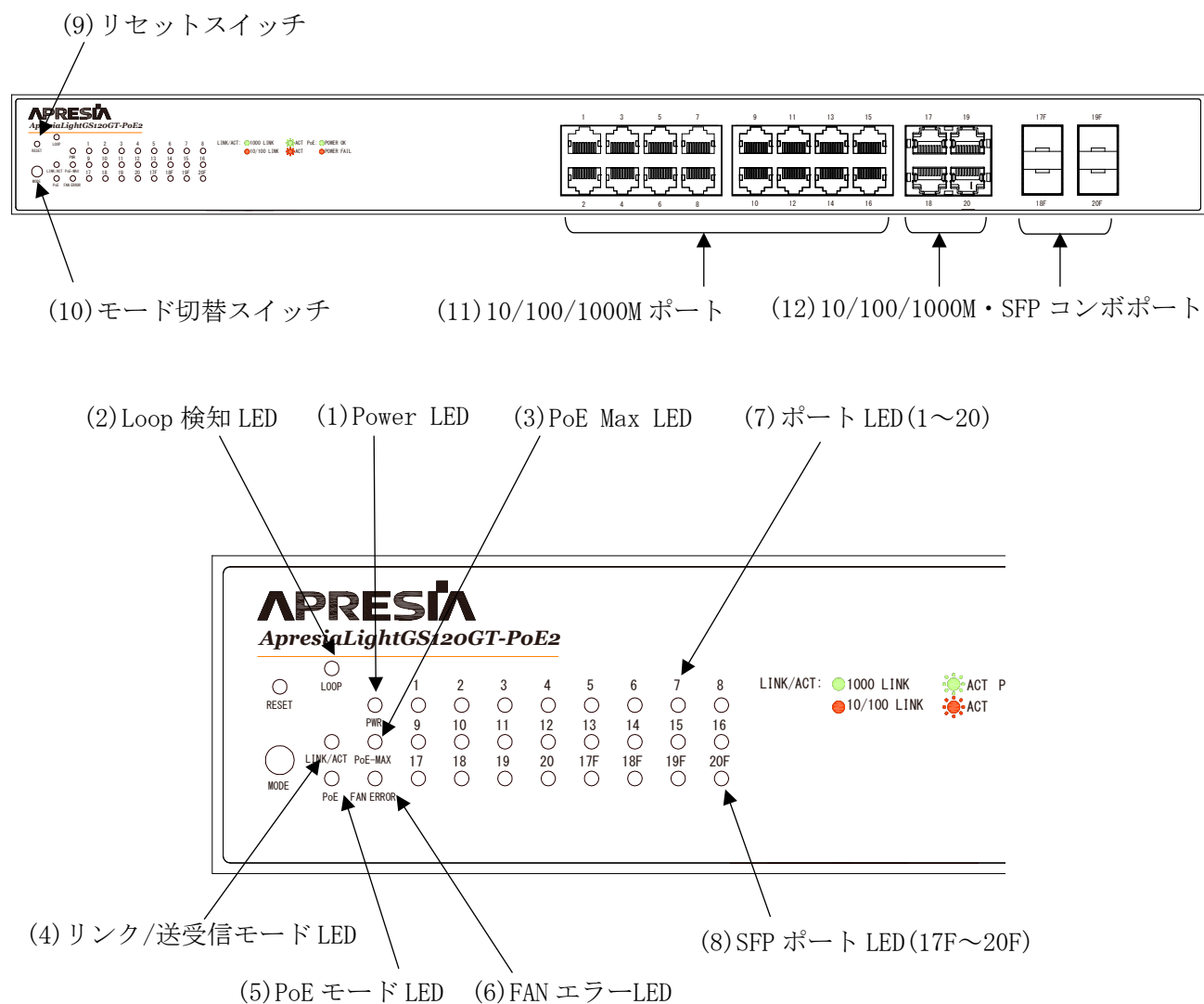


図 2-21 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のフロントパネルの構成

表 2-21 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のフロントパネル各部の名称および機能

No.	パネル表示	名称		ステータス	説明
(1)	PWR	Power LED		緑点灯	電源が供給されている状態
				消灯	電源が供給されていない状態、もしくは電源異常の状態
(2)	LOOP	Loop 検知 LED		赤点灯	ループを検知している状態
				消灯	ループを検知していない状態
(3)	PoE-MAX	PoE Max LED		橙点灯	PoE 給電が装置の給電制限に達している状態
				消灯	PoE 給電が装置の給電制限に達していない状態
(4)	LINK/ACT	リンク/送受信モード LED		緑点灯	ポート LED がリンク/送受信モードの状態
				消灯	ポート LED がリンク/送受信モードではない状態
(5)	PoE	PoE モード LED		緑点灯	ポート LED が PoE モードの状態
				消灯	ポート LED が PoE モードではない状態
(6)	FAN ERROR	FAN エラーLED		赤点灯	内蔵ファンが停止している状態
				消灯	内蔵ファンが回転している状態
(7)	1~20	ポート LED	リンク/送受信モード時	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
				緑点減	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				橙点灯	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立している状態
				橙点減	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				消灯	リンクが確立していない状態
		PoE モード時 (1~16 のみ)	緑点灯	PoE 給電が正常に行われている状態	
			橙点灯	PoE 給電停止または異常の状態(供給電力不足など)	
			消灯	PoE 給電停止設定または受電機器(PD)が未接続の状態	
(8)	17F~20F	SFP ポート LED		緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
				緑点減	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				消灯	リンクが確立していない状態
(9)	RESET	リセットスイッチ		-	装置を再起動するプッシュスイッチ 1~5 秒押下:装置リブート 5 秒を超えて押下:工場出荷状態に戻しリブート

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(10)	MODE	モード切替スイッチ	-	ポート LED の表示モードを切り替えるスイッチ 1 秒以上の押下により、リンク/送受信モード⇔PoE モードの切り替えを行う。(初期設定はリンク/送受信モード)
(11)	1～16	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(12)	17～20、 17F～20F	10/100/1000M・SFP コンボポート	-	10/100/1000BASE-T ポートまたは SFP ポートのどちらかを選択して使用可能なコンボポート。 SFP ポート使用時は対応した SFP モジュールを装着してください。

2.1.6.2 リアパネル

ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のリアパネルの構成を図 2-22 に、リアパネル各部の名称および機能を表 2-22 に記載します。



図 2-22 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のリアパネルの構成

表 2-22 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	型式ラベル	製造元情報表示、型式表示、製造年月表示、定格表示、製造番号表示、VCCI 適合表示
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクタです。本装置には電源スイッチはありません。電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.1.6.3 ボトムパネル

ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のボトムパネルの構成を図 2-23 に、ボトムパネル各部の名称および機能を表 2-23 に記載します。

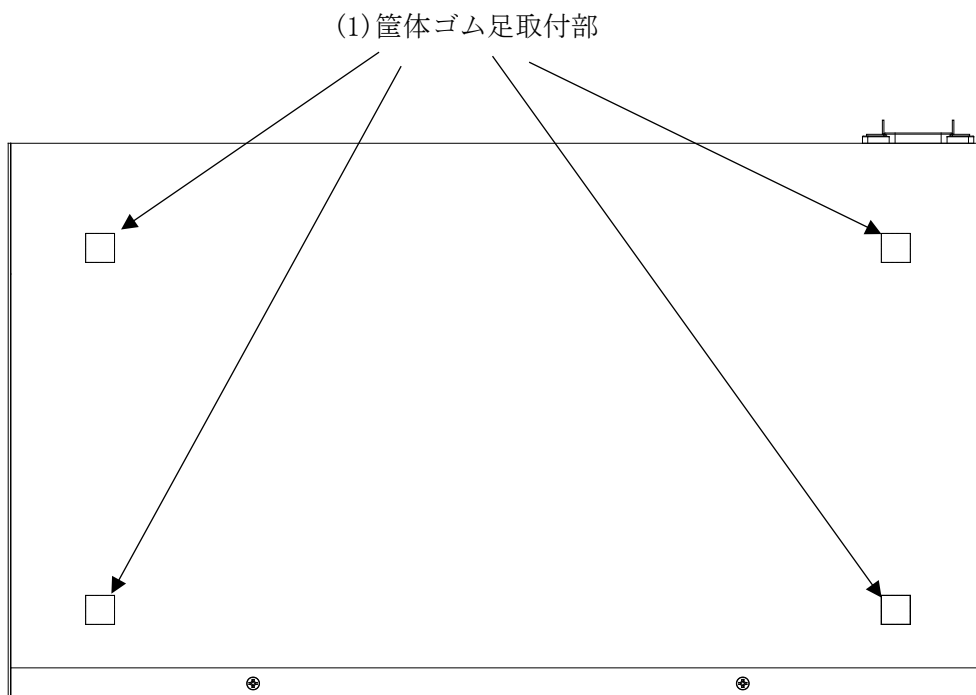


図 2-23 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のボトムパネルの構成

表 2-23 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のボトムパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	筐体ゴム足取付部	付属品のゴム足を取り付けるための部分です。ゴム足の取り付け方法は「3.2.6 筐体ゴム足の取り付け方法」をご確認ください。

2.1.6.4 サイドパネル

ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のサイドパネルの構成を図 2-24 に、サイドパネル各部の名称および機能を表 2-24 に記載します。

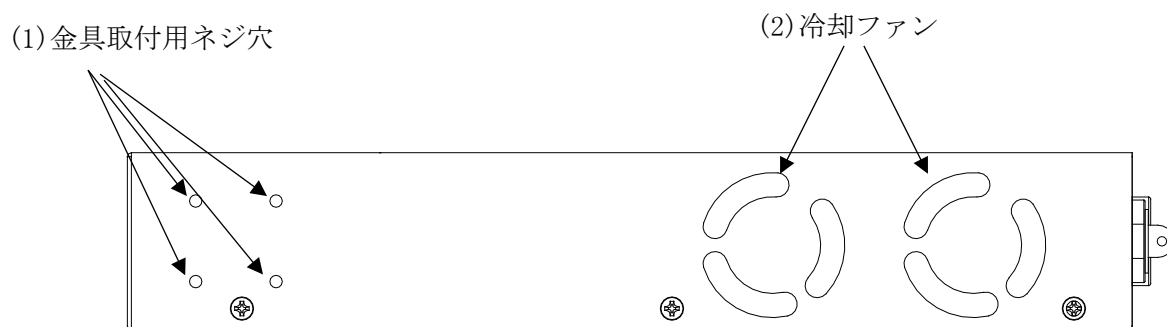


図 2-24 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のサイドパネルの構成

表 2-24 ApresiaLightGS120GT-PoE/PoE2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	金具取付用ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。両サイドに設けられています。
(2)	冷却ファン	冷却用のファンです

! 冷却ファンの低速回転運用中に不定期で瞬間的な高速回転をする場合があります。本装置の動作仕様であり故障ではありません。

2.1.7 ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2

2.1.7.1 フロントパネル

ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のフロントパネルの構成を図 2-25 に、フロントパネル各部の名称および機能を表 2-25 に記載します。

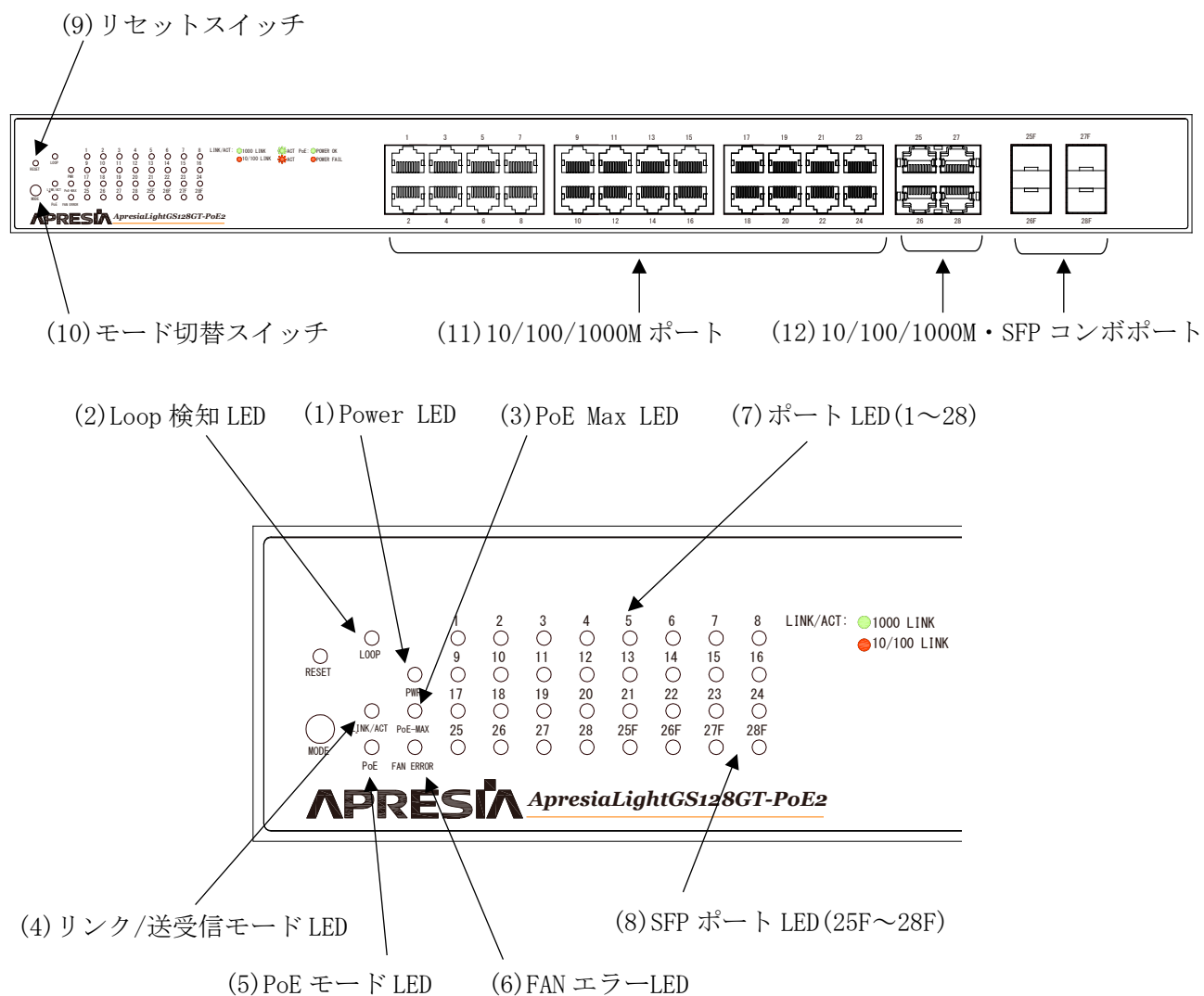


図 2-25 ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のフロントパネルの構成

表 2-25 ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のフロントパネル各部の名称および機能

No.	パネル表示	名称		ステータス	説明
(1)	PWR	Power LED		緑点灯	電源が供給されている状態
				消灯	電源が供給されていない状態、もしくは電源異常の状態
(2)	LOOP	Loop 検知 LED		赤点灯	ループを検知している状態
				消灯	ループを検知していない状態
(3)	PoE-MAX	PoE Max LED		橙点灯	PoE 給電が装置の給電制限に達している状態
				消灯	PoE 給電が装置の給電制限に達していない状態
(4)	LINK/ACT	リンク/送受信モード LED		緑点灯	ポート LED がリンク/送受信モードの状態
				消灯	ポート LED がリンク/送受信モードではない状態
(5)	PoE	PoE モード LED		緑点灯	ポート LED が PoE モードの状態
				消灯	ポート LED が PoE モードではない状態
(6)	FAN ERROR	FAN エラーLED		赤点灯	内蔵ファンが停止している状態
				消灯	内蔵ファンが回転している状態
(7)	1~28	ポート LED	リンク/送受信モード時	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
				緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				橙点灯	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立している状態
				橙点滅	10Mbps か 100Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				消灯	リンクが確立していない状態
		PoE モード時 (1~24のみ)	緑点灯	PoE 給電が正常に行われている状態	
			橙点灯	PoE 給電停止または異常の状態 (供給電力不足等)	
			消灯	PoE 給電停止設定または受電機器 (PD) が未接続の状態	
(8)	25F~28F	SFP ポート LED		緑点灯	1000Mbps でリンクが確立している状態
				緑点滅	1000Mbps でリンクが確立し、かつデータ送受信中の状態
				消灯	リンクが確立していない状態
(9)	RESET	リセットスイッチ	-	装置を再起動するプッシュスイッチ 1~5 秒押下: 装置リブート 5 秒を超えて押下: 工場出荷状態に戻しリブート	
(10)	MODE	モード切替スイッチ	-	ポート LED の表示モードを切り替えるスイッチ 1 秒以上の押下により、リンク/送受信モード⇔PoE モードの切り替えを行う。(初期設定はリンク/送受信モード)	
(11)	1~24	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。	

No.	パネル表示	名称	ステータス	説明
(12)	25～28 25F～28F	10/100/1000M ・ SFP コンボポート	-	10/100/1000BASE-T ポートまたは SFP ポートのどちらかを選択して使用可能なコンボポート。 SFP ポート使用時は対応した SFP モジュールを装着してください。

2.1.7.2 リアパネル

ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のリアパネルの構成を図 2-26 に、リアパネル各部の名称および機能を表 2-26 に記載します。



図 2-26 ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のリアパネルの構成

表 2-26 ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	型式ラベル	製造元情報表示、型式表示、製造年月表示、定格表示、製造番号表示、VCCI 適合表示
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクタです。本装置には電源スイッチはありません。電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.1.7.3 ボトムパネル

AprasiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のボトムパネルの構成を図 2-27 に、ボトムパネル各部の名称および機能を表 2-27 に記載します。

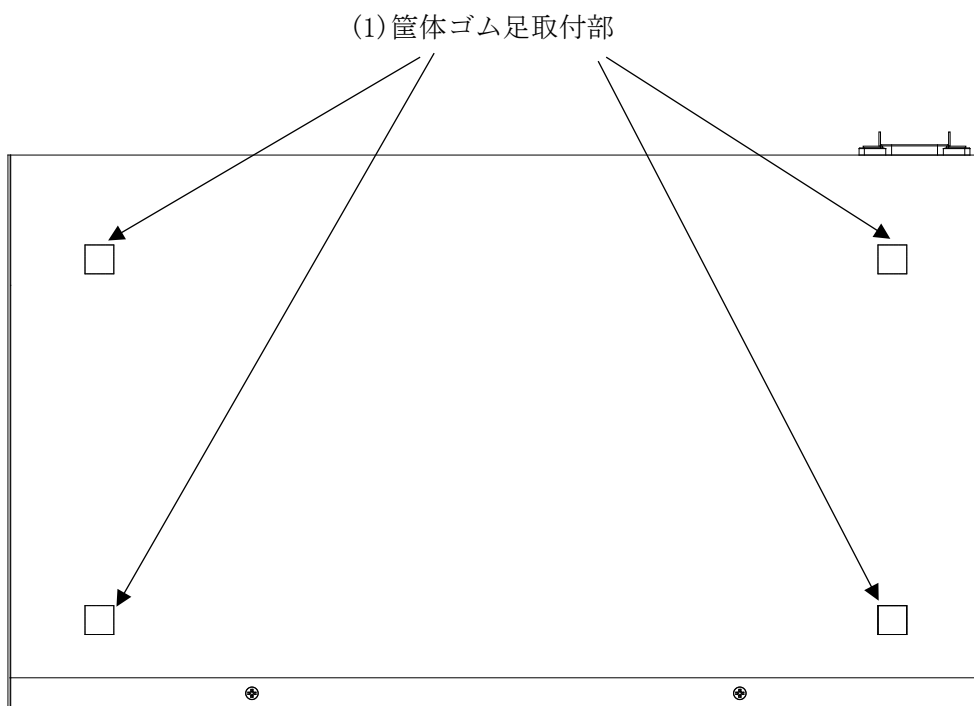


図 2-27 AprasiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のボトムパネルの構成

表 2-27 AprasiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のボトムパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	筐体ゴム足取付部	付属品のゴム足を取り付けるための部分です。ゴム足の取り付け方法は「3.2.6 筐体ゴム足の取り付け方法」をご確認ください。

2.1.7.4 サイドパネル

ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のサイドパネルの構成を図 2-28 に、サイドパネル各部の名称および機能を表 2-28 に記載します。



(1) 金具取付用ネジ穴

図 2-28 ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のサイドパネルの構成

表 2-28 ApresiaLightGS128GT-PoE/PoE2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	説明
(1)	金具取付用ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。両サイドに設けられています。
(2)	冷却ファン	冷却用のファンです

! 冷却ファンの低速回転運用中に不定期で瞬間的な高速回転をする場合があります。本装置の動作仕様であり故障ではありません。

3. 設置および接続

設置・接続の手順例を図 3-1 に記載します。状況に応じて、設置・接続を行ってください。

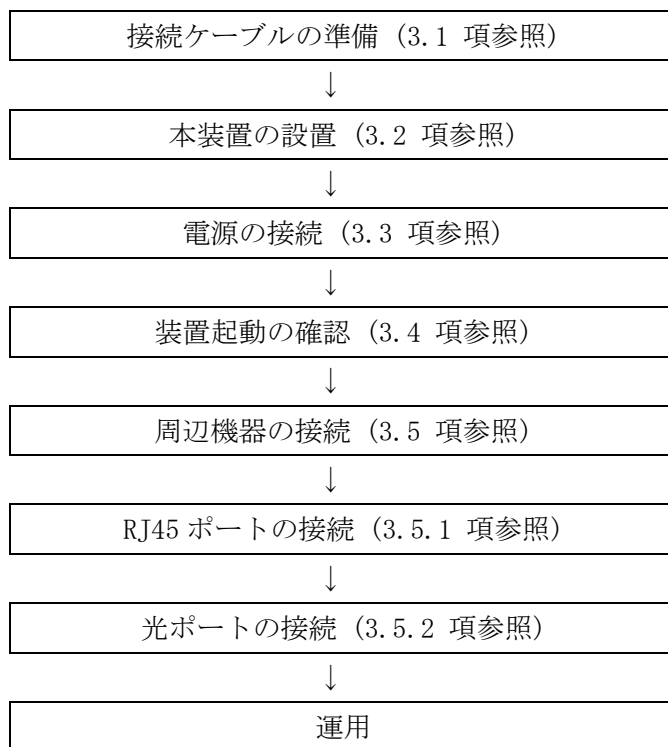


図 3-1 設置・接続の手順例

3.1 接続ケーブルの準備

本装置の接続を行うには、構成品以外に表 3-1 に記載するケーブルが必要になります。

表 3-1 接続に必要なケーブル

接続箇所	ケーブルの種類	コネクタ	備考
10/100/1000M ポート	ツイストペアケーブル(カテゴリ 5)	RJ-45	10/100M 利用時のみ
	ツイストペアケーブル(カテゴリ 5e 以上)	RJ-45	
SFP ポート	シングルモードファイバー マルチモードファイバー	LC	

! 10/100/1000M ポートではオートネゴシエーション機能が動作していますので、基本的に接続先デバイスではオートネゴシエーション機能を有効にするか、1000M 固定モードをご使用ください。100M 全二重固定モードあるいは 10M 全二重固定モードを使用すると、duplex 不一致のためにパフォーマンスが安定しない場合があります。

! 10/100/1000M ポートでは MDI/MDI-X 自動認識機能が動作しています。クロス結線、及びストレート結線のいずれのツイストペアケーブルでもご使用いただけます。

3.2 本装置の設置

本装置を設置の際は、「3.2.1 設置条件」に従ってください。

3.2.1 設置条件

本装置の機能を損なうことなく、長くご愛用いただくためには適正な環境と取り扱いが必要です。「安全に関するご注意」に記載した事項をお守り頂けない場合、装置の寿命の低下や故障の原因となりますので避けてください。

本装置は以下の環境に設置してください。

項目	条件	備考
動作周囲温度	0～50 ℃	
動作周囲相対湿度	10～90 % RH	結露なきこと

本装置を設置する時には操作性、安全性を十分考慮し、特に装置内部の冷却のための通風孔を塞がないようにしてください。

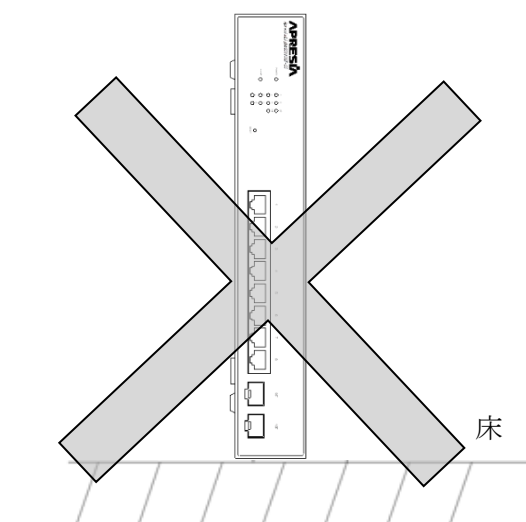


図 3-2 悪い設置例

- ⊘ 本装置の上に花瓶や飲物等液体の入ったものを置かないでください。液体がこぼれた場合、感電の危険があります。
- ⊘ 本装置の横に物を置かないでください。装置内部の冷却のための通風孔を塞ぎ、故障の原因となります。
- ⊘ 本装置を直接、床などに縦置きで使用しないでください。装置内部の冷却のための通風孔を塞ぎ、故障の原因となります。縦置きする場合は、別売り品の縦置き KIT を使用して設置してください。



装置のトップカバーが部分的に高温となる場合があります。取扱時には火傷にご注意ください。



本装置を設置する場合は換気のための適切な空間として、本装置側面の通風孔を塞がないよう十分なスペース(目安として約 100mm 以上)を空けてください。



熱を発する機器を本装置の近傍に設置すると、発熱やエアフローの干渉により、片方あるいは双方の機器の冷却効果が十分には発揮できず、早期の故障を招く恐れがあります。特に、19 インチラックのような機器が密集する設置場所では、機器のエアフローやラックの構造、配線状況を検討した上で、機器間に適度なスペース(1U 程度)を設けるなど、余裕を持たせた実装をご検討ください。

3.2.2 ラックへの取り付け方法

ApresiaLightGS120/128/152GT-SS/SS2 および ApresiaLightGS110/120/128GT-PoE/PoE2 は、標準添付品のラックマウント金具を使用して 19 インチラックサイズ(EIA 規格ワイドピッチ)に取り付けることができます。

本装置を設置する場合はフロント側 60mm、リア側 100mm、奥行き(内寸)420mm 以上のスペースが必要になります。



ラックに取り付ける際は、必ず標準添付されているラックマウント金具をご使用ください。落下によるケガや機器破損の原因になる場合があります。

標準添付ラックマウント金具の使用方法を下記に記載します。

【構成品】

- ・ ラックマウント金具 × 2 個
- ・ 筐体取付用ネジ(M3×6) × 8 個
- ・ ラック取付用ネジ(M5×12) × 4 個(お客様にてご準備ください)

【手順】

- (1) 筐体取付用ネジを用いてラックマウント金具を本体に取り付けます。金具の向きは図 3-3 を参照ください。

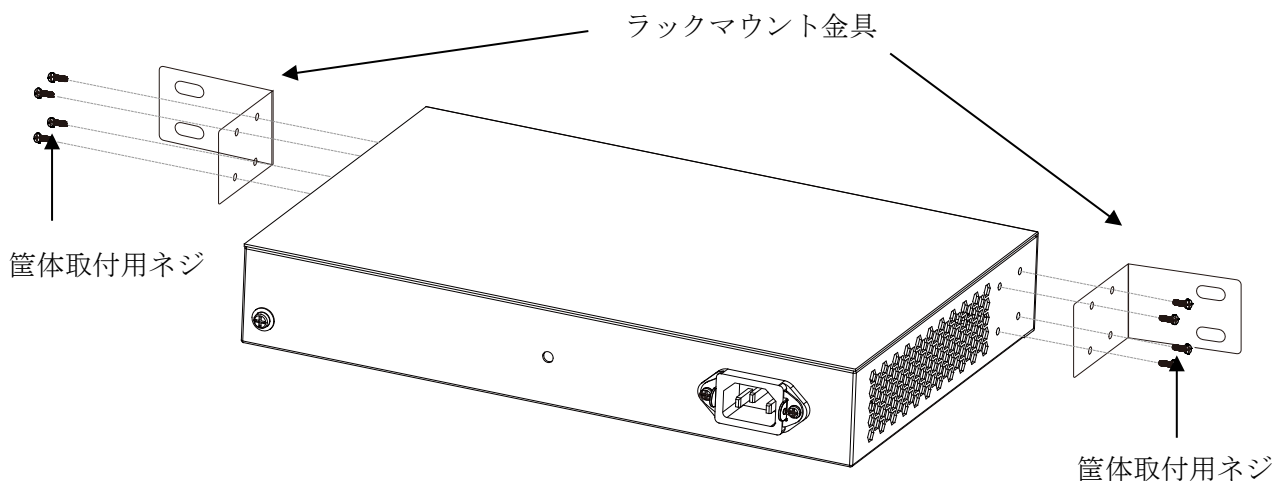


図 3-3 ラックマウント金具の取り付け方法

(2) ラック取付用ネジを用いてラックマウント金具をラックに固定してください。

締付けトルク推奨値

筐体取付用ネジ(M3) : 0.39N・m (4.0kgf・cm)

ラック取付用ネジ(M5) : 0.69N・m (7.0kgf・cm)



本装置を取り付け・取り外しする際は、本装置及びラックマウント金具が落下しないように十分気をつけてください。



本装置を取り付け・取り外しする際は、ラックのレール、ケージナット等でケガをしないように周りに十分気をつけてください。



ラックに取り付けする際、トルクドライバー等を使用して付属のラックマウント金具のネジを締付けトルク推奨値(M3:0.39N・m、M5:0.69N・m)で締めるようにしてください。締付けトルクを守れない場合は、あらかじめ傾斜防止の棚板などを準備して設置するようにしてください。また、必ず指定された本数のネジで取り付けてください。

締付けトルク推奨値で締めない場合やネジの本数が不足している場合、設置した後に筐体の傾斜や落下の危険があります。

3.2.3 AC 電源コードストッパーの取り付け方法

AC 電源コードストッパー(標準添付品)の取り付け方法を下記に記載します。

【構成品】

- ・ AC 電源コードストッパー × 1 個

【手順】

- (1) AC 電源コードストッパーの両端を AC インレットにある左右の穴に差し込んでください。(図 3-4 参照)

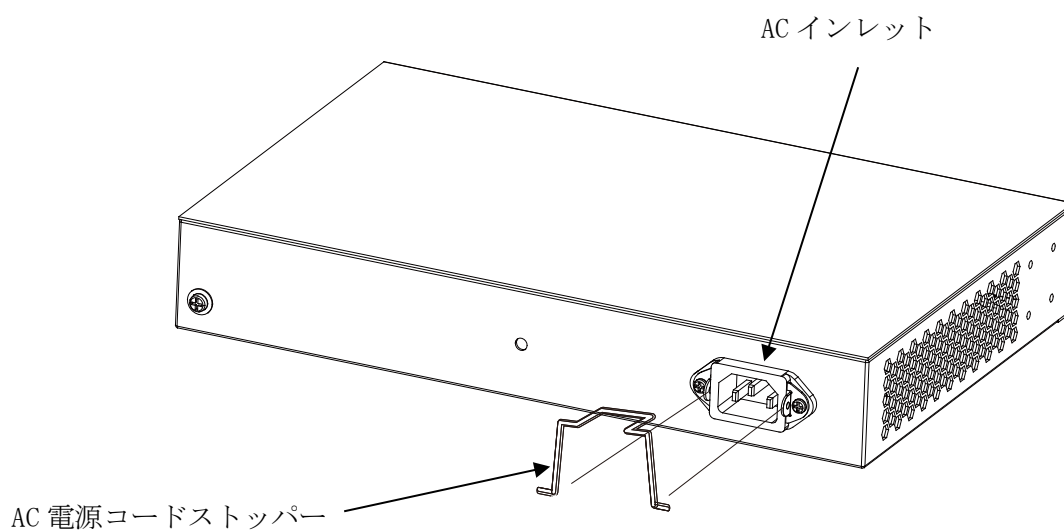


図 3-4 AC 電源コードストッパーの取り付け方法

- (2) 電源コードを AC インレットに挿入後、AC 電源コードストッパーを下げることで、電源コードを固定します。(図 3-5 参照)

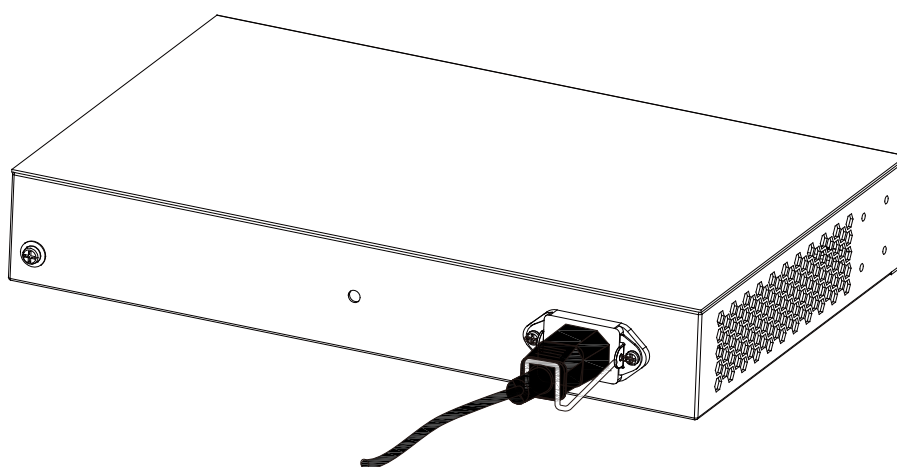


図 3-5 AC 電源コードストッパーを電源コードに固定した状態

3.2.4 壁掛け用ネジによる設置方法

APLGS110GTSS、APLGS120GTSS/SS2 は、壁掛け用ネジを用いて壁掛けすることが可能です。取り付け方法を下記に記載します。

【構成品】

- ・ トラス小ネジ × 2 個 （お客様にてご準備ください）

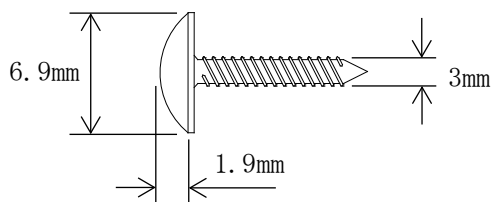


図 3-6 トラス小ネジの寸法図


【手順】


- (1) トラス小ネジを、表 3-2 に示す壁掛け用穴の間隔で、壁面に固定してください。


表 3-2 壁掛け用穴の間隔


型式	壁掛け用穴の間隔
APLGS110GTSS	151mm
APLGS120GTSS/SS2	147mm

- (2) 筐体底面の壁掛け用穴にトラス小ネジの頭を入れてください。
- (3) 筐体をスライドさせ、トラス小ネジの頭に筐体底面の壁掛け用穴を吻合させてください。

 本装置を完全に固定する訳ではありません。お客様で十分に安全を確認して設置してください。

 筐体底面の壁掛け用穴に 3mm 以上の物を入れないでください。本装置の予期しない動作や故障の原因となります。これが原因で本装置が故障した場合、5 年間の無償保証サービスの対象外となります。












 お客様で十分に安全を確認して設置ください。本マニュアルに記載の推奨値以外で設置した場合やトラス小ネジの埋め込み深さが足りずに落下した場合は弊社で一切の責任を負いません。

 通信ポートが上向きとなる設置はしないでください。本装置の予期しない動作や故障の原因となります。

3.2.5 マグネットによる設置方法

APLGS110GTSS、APLGS120GTSS/SS2、APLGS110GTPOE/POE2 は、底面のマグネットを用いて、鉄板面に固定することが可能です。設置場所に完全に固定することを目的としていませんので、落下の恐れがある場所には設置しないでください。

APLGS110GTSS、APLGS120GTSS/SS2、APLGS110GTPOE/POE2 は、底面のマグネットを取り付けた状態で、水平な台や机の上に、最大 2 段まで積み重ねて設置することが可能です。壁面に 2 段重ねで設置しないでください。

-  マグネットと設置面の間に布やカバー等を介在させないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる場合があります。
-  マグネットを使用して設置する際に、マグネットの強磁性により指や手などを挟み込む恐れがありますので、十分ご注意ください。
-  マグネットによる設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器の破損の原因になる恐れがあります。
-  マグネットを使用して機器を高所に取り付けしないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる恐れがあります。
-  ポートが上向きとなる設置はしないでください。本装置の故障の原因となります。
-  振動や衝撃の多い場所、および不安定な場所には設置しないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる場合があります。
-  本装置を設置、移設、撤去する際は、落下、転倒に十分ご注意ください。ケガや機器の破損の原因になる恐れがあります。
-  マグネットで本装置を取り付けた状態で、本装置をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつく場合があります。
-  マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される場合があります。
-  マグネットをパソコンやディスプレイなどの磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により故障などの原因になる場合があります。
-  設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。



ApresiaLightGS110/120GT-SS/SS2、ApresiaLightGS110GT-PoE/PoE2 を 2 段積み重ねて設置した場合、下段のゴム足がつぶれてマグネットが机などの天板に接触し、塗装などに傷がつく場合があります。

3.2.6 筐体ゴム足の取り付け方法

ApresiaLightGS128/152GT-SS/SS2 および ApresiaLightGS110/120/128GT-PoE/PoE2 の、筐体ゴム足の取り付け方法を下記に記載します。

【構成品】

- ・ 筐体ゴム足 × 4 個

【手順】（図は ApresiaLightGS128GT-SS での例）

- (1) 筐体ゴム足の剥離紙をはがします。
- (2) 製品底面の四角い凹み部(4ヶ所)にゴム足を貼り付けます。(図 3-7 参照)

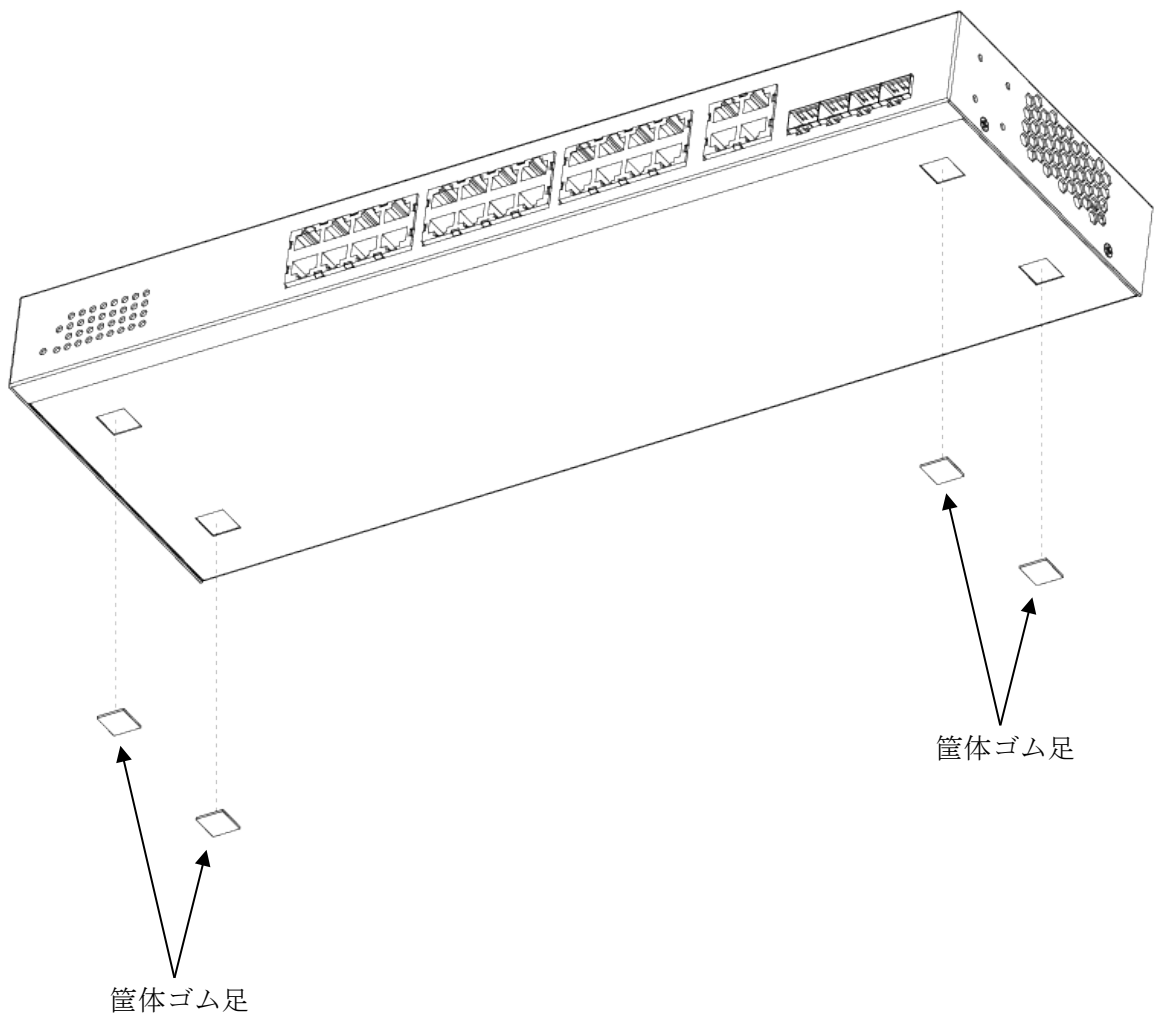


図 3-7 筐体ゴム足の取り付け方法

3.2.7 壁面取付金具またはラックマウント金具による壁面設置方法

ApresiaLightGS シリーズは、壁面取付金具(別売品)を用いて壁面に設置することが可能です。また、APLGS110GTPOE/POE2、APLGS120GTPOE/POE2、APLGS128GTPOE/POE2 は、標準添付品のラックマウント金具を用いて壁面に設置することも可能です。設置方法を下記に記載します。



壁面に取り付ける際は、必ず壁面取付金具または標準添付されているラックマウント金具をご使用ください。落下によるケガや機器破損の原因になる場合があります。

【構成品】

- 壁面取付金具またはラックマウント金具 × 2 個
- 筐体取付用ネジ(M3×6) × 8 個
- 十字穴付(+) A バインドタッピングネジ × 4 個 (図 3-8 参照。お客様にてご準備ください)
- ワッシャー(M4 用) × 4 個 (図 3-9 参照。お客様にてご準備ください)

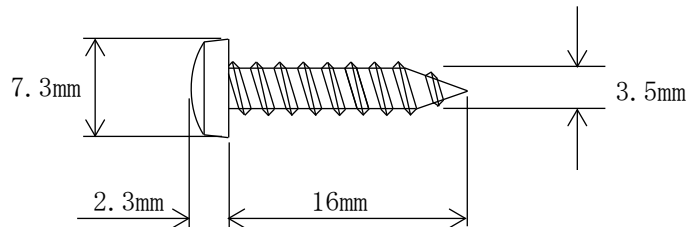


図 3-8 タッピングネジの寸法図

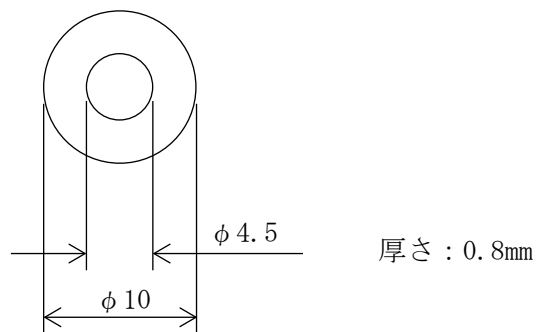


図 3-9 ワッシャー(M4 用)の寸法図

【手順】

- (1) 筐体取付用ネジを用いて、壁面取付金具またはラックマウント金具を本体に取り付けます。金具の向きは図 3-10、図 3-11 を参照ください。APLGS110GTSS、APLGS120GTSS/SS2、APLGS110GTPOE/POE2 の場合、本体に取付済みのゴム足、マグネットは外さないでください。

締付けトルク推奨値 : 0.39N・m (4.0kgf・cm)

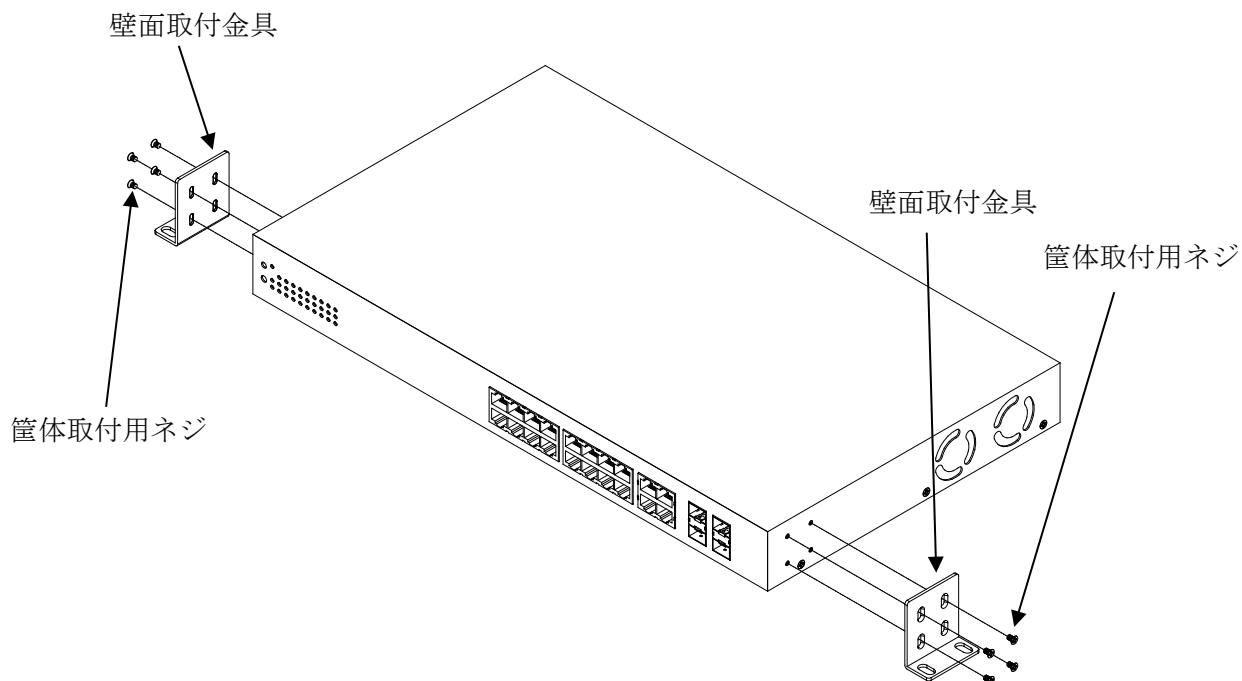


図 3-10 壁面取付金具の取り付け方法

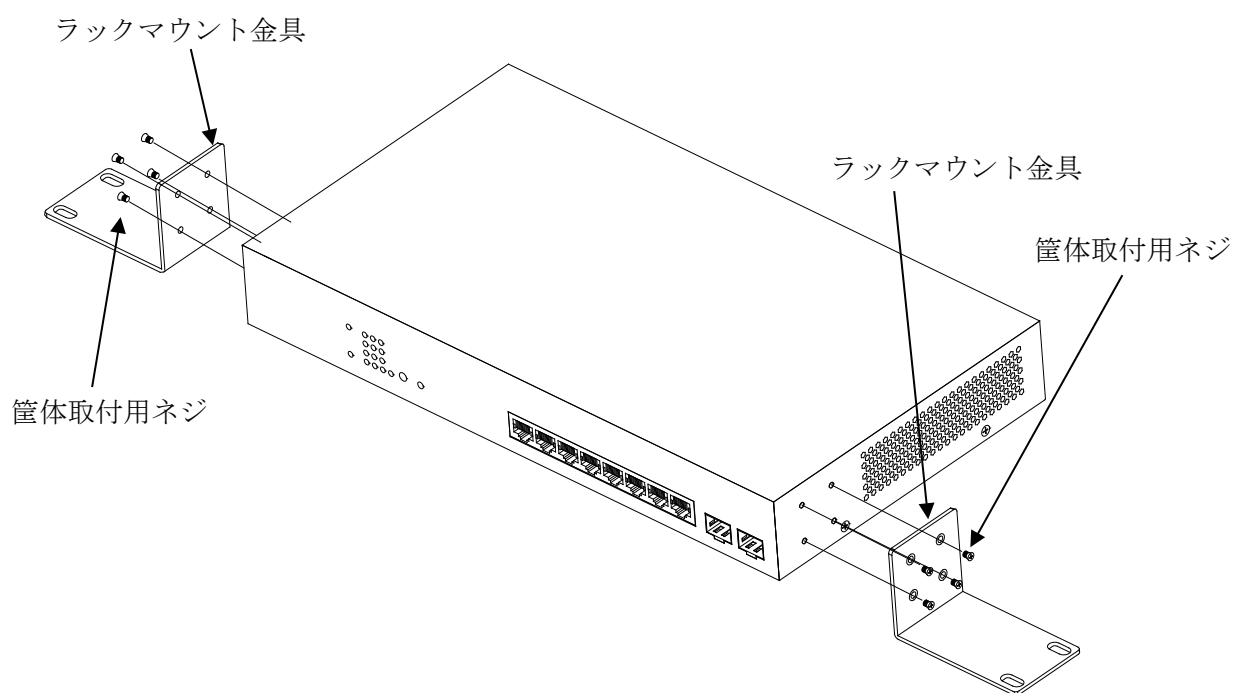


図 3-11 ラックマウント金具の取り付け方法

(2) タッピングネジ、ワッシャーを用いて、壁面取付金具またはラックマウント金具を壁面に固定してください。



お客様で十分に安全を確認して設置ください。本マニュアルに記載の推奨値以外で設置した場合やタッピングネジの埋め込み深さが足りずに落下した場合は弊社で一切の責任を負いません。



通信ポートが上向きとなる設置はしないでください。本装置の予期しない動作や故障の原因となります。



ApresiaLightGS128/152GT-SS/SS2 を、本体側面の通風孔が上または下になる向きで設置しないでください。



ApresiaLightGS120/128GT-PoE/PoE2 を、本体側面のファンが上または下になる向きで設置しないでください。



本装置を取り付け・取り外しする際は、本装置及びラックマウント金具が落下しないように十分気をつけてください。



ラックマウント金具の筐体取付用ネジは、締付けトルク推奨値 (0.39N・m) で締めるようにしてください。また、必ず指定された本数のネジで取り付けてください。締付けトルク推奨値で締めない場合やネジの本数が不足している場合、設置した後に筐体の落下の危険があります。



本装置を取り付ける壁面の強度確認を行い、強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。強度が不足している場合、設置した後に筐体の落下の危険があります。



垂直壁以外の場所（天井など）に取り付けて使用しないでください。

3.2.8 専用マグネットシートによる設置方法

APLGS128GTSS/SS2、APLGS152GTSS/SS2、APLGS120GTPOE/POE2、APLGS128GTPOE/POE2 は、オプションの専用マグネットシートを用いて、鉄板面に固定することが可能です。設置場所に完全に固定することを目的としていませんので、落下の恐れがある場所には設置しないでください。

【構成品】

- 専用マグネットシート AL-MGST-L01 × 1個

【手順】

- 本装置のボトムパネルに筐体ゴム足がついている場合は外します。筐体ゴム足の粘着テープが残っている場合はきれいにはがします。本装置のボトムパネルの表面を十分に清掃します。
- 専用マグネットシートを、本装置のボトムパネルの中央に、当社ロゴマークの印刷されている面を装置側に向けて貼りつけます。
- このまま鉄板面に本装置を貼り付けて設置してください。

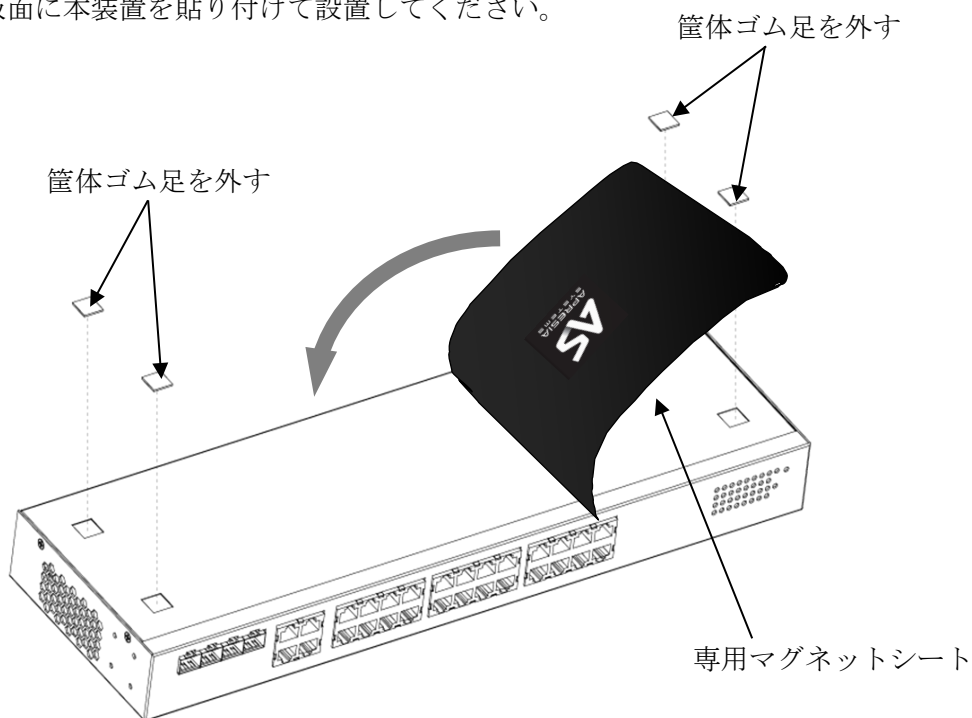
















図 3-12 専用マグネットシートによる設置方法

-  筐体ゴム足を取り付けたまま専用マグネットシートで設置しないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる恐れがあります。
-  専用マグネットシートと設置面の間に布やカバー等を介在させないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる場合があります。
-  専用マグネットシートを使用して設置する際に、マグネットの強磁性により指や手などを挟み込む恐れがありますので、十分ご注意ください。

-  専用マグネットシートによる設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器の破損の原因になる恐れがあります。
-  専用マグネットシートを使用して機器を高所に取り付けないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる恐れがあります。
-  通信ポートが上向きとなる設置はしないでください。本装置の予期しない動作や故障の原因となります。
-  ApresiaLightGS128/152GT-SS/SS2 を、本体側面の通風孔が上または下になる向きで設置しないでください。
-  ApresiaLightGS120/128GT-PoE/PoE2 を、本体側面のファンが上または下になる向きで設置しないでください。
-  振動や衝撃の多い場所、および不安定な場所には設置しないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる場合があります。
-  本装置を設置、移設、撤去する際は、落下、転倒に十分ご注意ください。ケガや機器の破損の原因になる恐れがあります。
-  専用マグネットシートを使って、機器を段積みしないでください。高温になり磁力が低下し、機器落下や機器故障の原因となる恐れがあります。
-  専用マグネットシートにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される場合があります。
-  専用マグネットシートをパソコンやディスプレイなどの磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により故障などの原因になる場合があります。
-  設置面の状態によっては、専用マグネットシートの十分な強度を得られない場合があります。

3.3 電源の接続

電源コードのコネクタを本装置の AC インレットに挿入し、電源コードのプラグを電源コンセントに挿入してください。(図 3-13 参照)

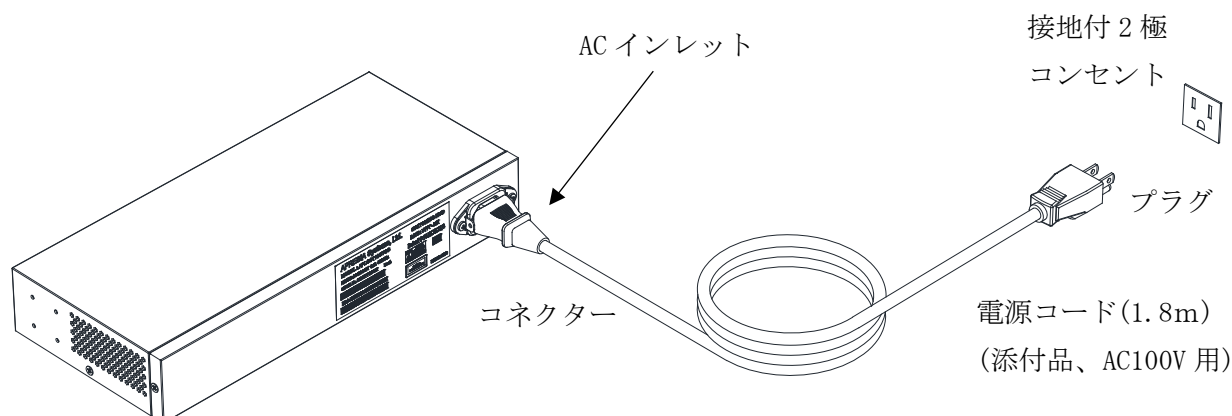


図 3-13 AC 電源の接続方法

⚠ 警告

電源コードは、必ず添付品の電源コードを使用してください。AC200V で使用する場合は、別売り品の AC200V 用電源コード(表 1-4 参照)をご購入ください。

⚠ 警告

添付されている電源コードは本装置専用ですので、他の製品で使用しないでください。



落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。この対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

⚠ 警告

ノイズなどが重畳された不安定な接地を使用しないでください。不安定な接地を使用した場合、作業者が感電する恐れがあります。また、本装置の予期しない動作や故障の原因となります。

3.4 装置起動の確認

本装置に電源コードを接続後、Power LED の点灯状態を確認してください。正常時は Power LED が点灯します。

Power LED が点灯しないときは、電源コードを取り外し、電源コードの接続状態、および供給電圧が正常かどうかを確認してください。接続に問題がないにもかかわらず LED の点灯状態が異常な場合は、本装置の故障が考えられます。お買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。

3.5 周辺機器の接続

本装置を接続する際は、下記の手順にて周辺機器を接続してください。

各ポートの接続状態を確かめた時点で、リンク/送受信 LED が接続状態の表示とならない場合は、5章トラブルシューティングを参考にしてください。

3.5.1 ユーザーポートの接続

- (1) ご使用になるツイストペアケーブルを、10/100/1000M ポート及び端末または他のネットワーク機器に接続してください。
- (2) 正しく接続されると、リンク信号を受信し、そのポートに対応するリンク/送受信 LED が、緑色（1000M 接続時）、もしくは橙色（10/100M 接続時）で点灯します。



ツイストペアケーブル等に帯電した電荷がユーザーポートに印加されると、故障の原因になりますので、ケーブルの敷設や移動をした場合、除電を確認した後で本装置にツイストペアケーブルを接続することをお勧めします。

3.5.2 SFP ポートの接続

3.5.2.1 SFP モジュールの装着

- (1) 使用する SFP ポートに SFP モジュールを挿入してください。APLGS152GTSS/SS2、APLGS120GTPOE/POE2、APLGS128GTPOE/POE2 の場合、SFP モジュールの挿入方向は奇数ポートと偶数ポートで逆になります。SFP モジュールの向きに注意してください。
- (2) カチッと手応えを感じるまで押し込んでください。抜け防止金具がある SFP モジュールの場合は、最後まで押し込んだ後ロックしてください。

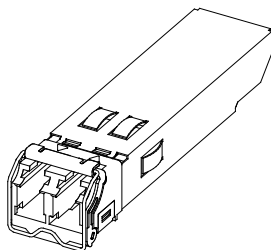


図 3-14 SFP モジュールの外観

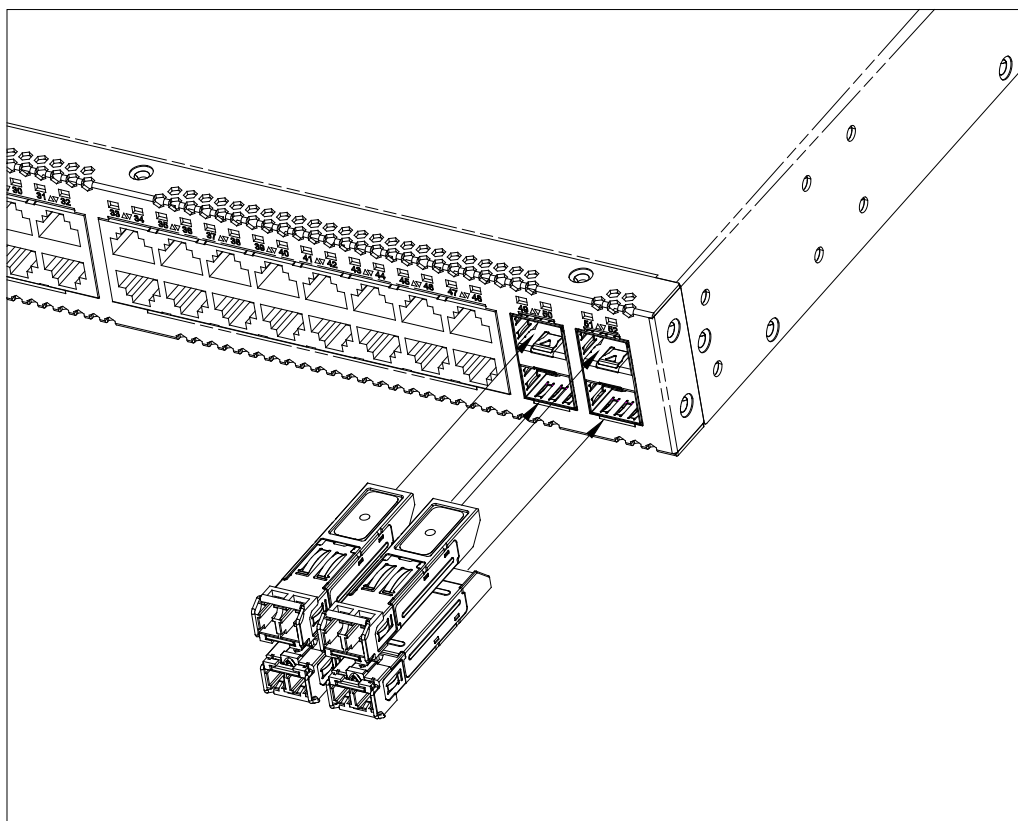






図 3-15 SFP モジュールの接続

注意

SFP モジュールの着脱時には、落下や指等を挟むことのないよう注意してください。ケガや機器破損の原因になる場合があります。

-  SFP モジュールの向きを間違えて挿入した場合、途中で強い抵抗感がありますので、それ以上無理に押し込もうとせず、SFP モジュールを一旦引き抜いてから向きを確認して、再度挿入してください。
SFP モジュールの向きを逆にして接続しようとする、SFP モジュールが損傷することがあります。
-  SFP ポートはオートネゴシエーションを Enable または Disable に設定できます。初期設定時は Enable に設定されていますので、必要に応じて設定を変更してください。
(BX10-SFP, BX20-SFP, T-SFP はオートネゴシエーションのみのサポートとなります。)
-  SFP モジュールは別売り品 (2.6 項参照) を使用してください。別売り品の SFP モジュール以外のもので使用した場合、通信が出来ないことがあります。
-  APLGS110GTSS/POE において T-SFP と対向装置を接続し再起動した場合、起動中に対向装置のリンクが約 30 秒アップします。

SFP モジュールと光ファイバーの対応表を表 3-3 に記載します。

表 3-3 SFP モジュールと光ファイバーの対応表

SFP モジュール 型式	ケーブル 種類	モード帯域 (MHz・km)	伝送距離 (※参考値)
H-SX-SFP/R	GI-62.5/125	160 *1)	最大 220m
		200 *1)	最大 275m
	GI-50/125	400 *1)	最大 500m
		500 *1)	最大 550m
H-LX-SFP/R	SM-9/125	-	最大 5km
H-BX10-SFP/I-D	SM-9/125	-	最大 10km
H-BX10-SFP/I-U	SM-9/125	-	最大 10km
H-BX20-SFP/I-D	SM-9/125	-	最大 20km
H-BX20-SFP/I-U	SM-9/125	-	最大 20km
H-T-SFP/R-A	(Cat. 5e UTP)	-	最大 100m

*1) 波長 850nm 帯


ご使用になる光ファイバーケーブルを、SFP ポートに接続してください。端末または他のネットワーク機器（スイッチ等）と適合するケーブルで接続されると、リンク信号を受信し、そのポートに対応する LINK/ACT LED が点灯します。


警告

電源が入っている場合は、光ポート及びそれに接続されている光ファイバーの終端を直接見えてはいけません。

注意


光ケーブルを本装置に接続する際には、ファイバークリーナ等で必ず光コネクタの端面を清掃してから接続してください。汚れが SFP モジュールに溜まり、故障の原因となります。


 上表の伝送距離は参考値です。周囲の環境や、ご使用する光ケーブルの品質および設置状態等により最大伝送距離は変化します。

 光ケーブルの接続は、SFP モジュールを正しい向きで奥までしっかりと挿入してから行ってください。SFP モジュールの装着が不完全な状態では正常な通信は行われません。

3.5.2.2 SFP モジュールの取り外し

- (1) APLGS110GTSS、APLGS120GTSS/SS2、APLGS128GTSS/SS2、APLGS110GTPOE/POE2 は、SFP モジュールの抜け防止金具を下げ、ロックを解除してから引き抜いてください。
- (2) APLGS152GTSS/SS2、APLGS120GTPOE/POE2、APLGS128GTPOE/POE2 は、奇数ポートの場合 SFP モジュールの抜け防止金具を下げ、偶数ポートの場合 SFP モジュールの抜け防止金具を上げ、ロックを解除してから引き抜いてください。

 抜け防止のロックが解除されていないと、SFP モジュールを引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると、本装置及び SFP モジュールが故障することがありますので、確実にロックを解除してください。

 装置運転中に SFP モジュールを取り外す場合、取り外した直後は SFP モジュールの本体部分が高温になっている恐れがありますのでご注意ください。

4. システムパラメーター設定の手順

システムパラメーター設定は、ユーザーポートにパラメーター設定端末を接続して行うことができます。システムパラメーター設定の手順を、図 4-1 に記載します。

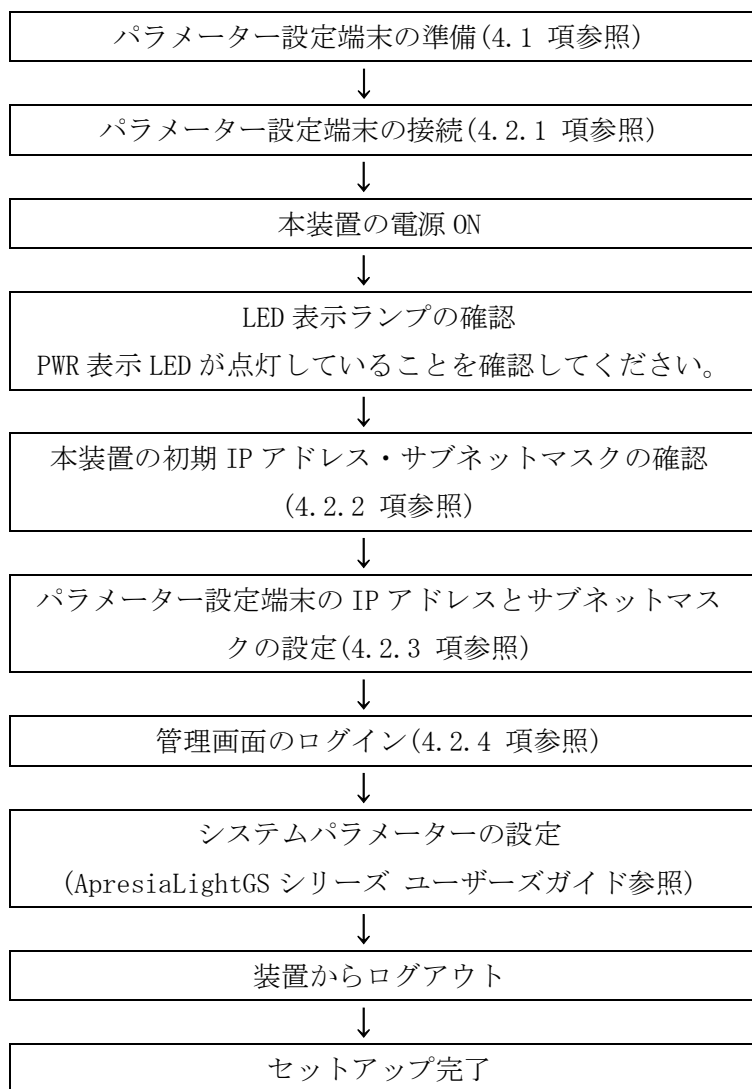


図 4-1 システムパラメーター設定手順

Web UI から装置のシステムパラメーターを設定する場合、パラメーター設定端末で特別に必要な条件はありません。ただし、インストールされている Web ブラウザーのバージョンによっては、Web UI が正常に動作しないことがあります。

また、大前提として装置とパラメーター設定端末間で TCP/IP 通信を行うネットワーク環境が必要となります。例えば、LAN ポートを持たないスマートデバイスなどで設定を行う場合は、別途無線 LAN などの環境が必要となります。一般的には、初回設定時には LAN ポートを持つ端末を使用し、LAN ケーブルで装置とパラメーター設定端末を直結して設定を行います。

4.1 パラメーター設定端末の準備

本装置のパラメーター設定に必要な端末の条件を、表 4-1 に記載します。

表 4-1 パラメーター設定端末の条件

項番	項目	仕様
1	アプリケーション	Web ブラウザーがインストールされている事

4.2 パラメーター設定端末の接続

4.2.1 パラメーター設定端末の接続

パラメーター設定端末と本装置のユーザーポートを、ツイストペアケーブルを用いて接続します。

図 4-2 に接続例を記載します。

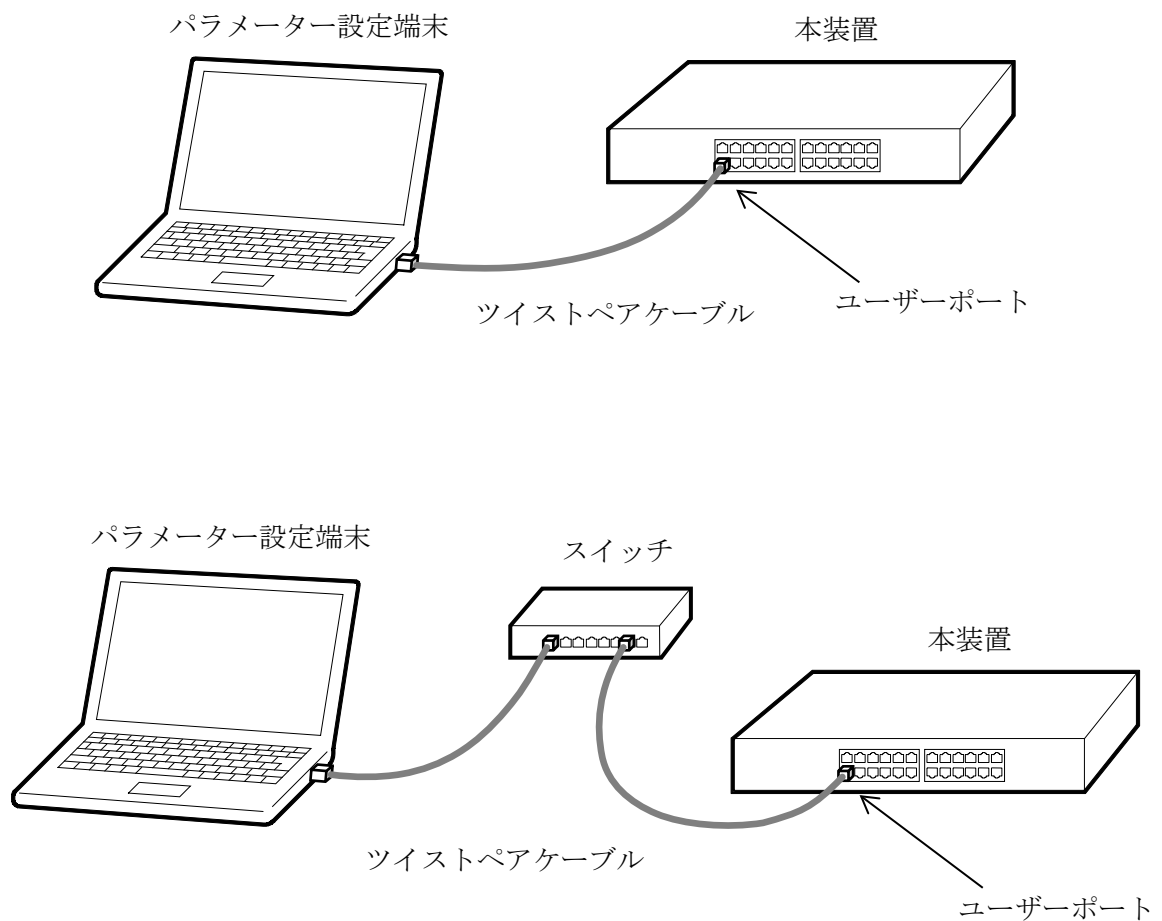


図 4-2 ツイストペアケーブルの接続例

4.2.2 初期 IP アドレス・サブネットマスクの確認

4.2.2.1 初期 IP アドレスの確認方法

初期 IP アドレスは、装置のリアパネルの型式ラベル上に、「Default IP」として表示されています。

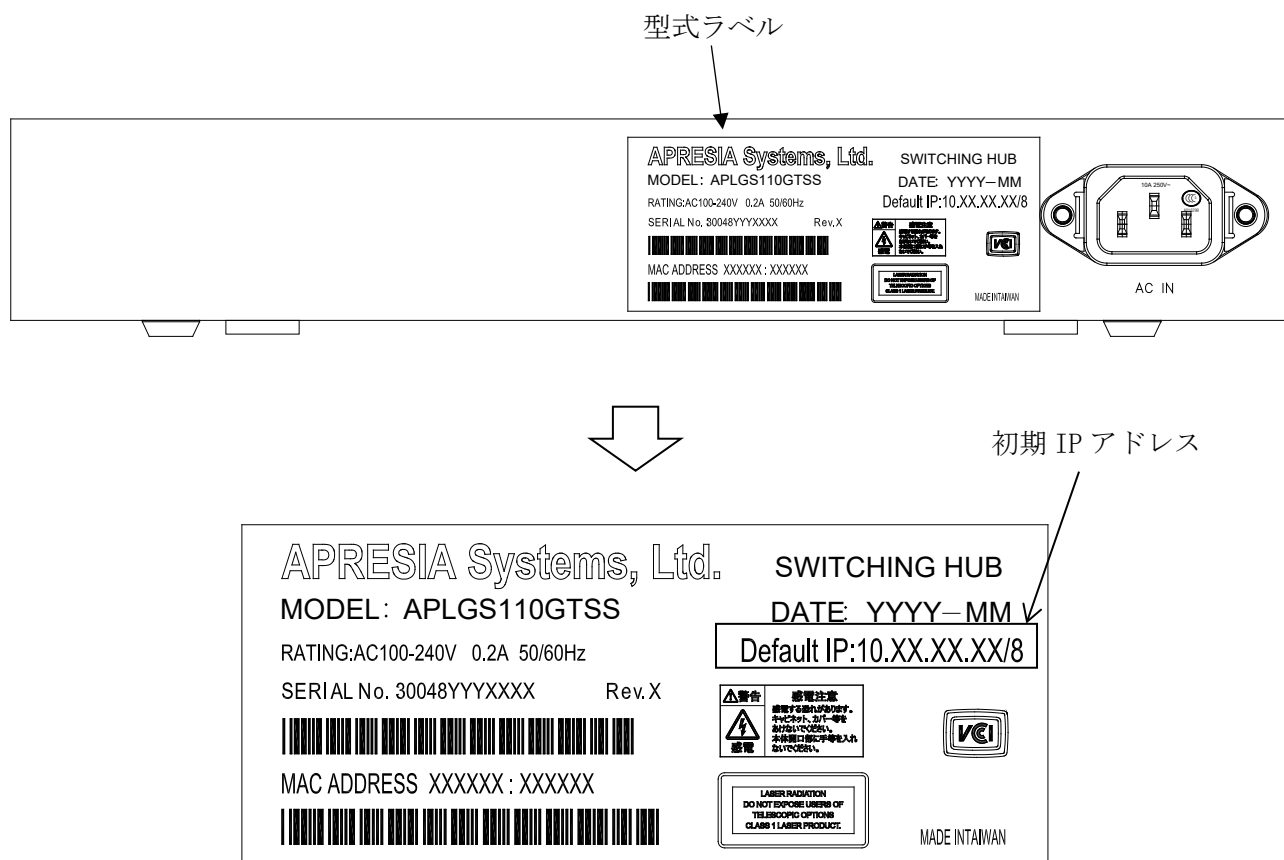


図 4-3 初期 IP アドレスの表示位置

4.2.2.2 初期サブネットマスク

初期サブネットマスクは、255.0.0.0 に設定されています。

4.2.3 パラメーター設定端末の IP アドレス、サブネットマスクの設定

パラメーター設定端末に、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。IP アドレスは、スイッチの IP アドレスに応じて設定します。スイッチの IP アドレスが 10.0.0.1 の場合の設定例を、表 4-2 に記載します。

表 4-2 パラメーター設定端末の IP アドレス、サブネットマスクの設定例

項目	本装置	パラメーター 設定端末	入力値
IP アドレス	10.0.0.1	10.X.X.Y	X は 0～255 の範囲で任意の値。 Y は 1～254 の範囲で任意の値 (ただし、スイッチと同一の IP アドレスにならないようにする)。
サブネットマスク	255.0.0.0	255.0.0.0 など	スイッチと同じ値を推奨。

4.2.4 管理画面のログイン

パラメーター設定端末の Web ブラウザーのアドレスバーに「http://(スイッチの IP アドレス)」を入力してアクセスします(スイッチの IP アドレスが 10.0.0.1 の場合、「http://10.0.0.1」になります)。アクセスに成功するとログイン画面(図 4-4)が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力します。管理者アカウントのデフォルトユーザー名は「adpro」です。パスワードは設定されていません。



図 4-4 ログイン画面

Web UI の詳細な操作方法や各種システムパラメーターの設定方法は、ユーザーズガイドを参照してください。

5. トラブルシューティング

5.1 障害現象の確認

障害が発生した場合、装置筐体の他に装置の設定、装置環境の問題などが考えられます。表 5-1 を参考に装置が原因か装置以外が原因かをご確認ください。

表 5-1 障害現象と対策

現象	対策
発煙、発火、異臭がする	すみやかに電源供給装置からの給電を停止してください。その後、装置環境が問題ないか確認してください。
「PWR」 LED が点灯しない	分電盤などの電源供給装置が動作しているか確認してください。
	電源コードが本装置のインレットとコンセントに正常に接続されていることを確認してください。
ツイストペアケーブルを接続しても、通信ポート用 LED が点灯しない	ツイストペアケーブルに異常がないかどうか確認してください。
	10/100M で使用している場合、カテゴリ 5 以上のツイストペアケーブルかどうか確認してください。1000M で使用している場合、カテゴリ 5e 以上のツイストペアケーブルかどうか確認してください。
	接続相手の端末が正常に動作しているかどうか確認してください。
	モジュラープラグ (RJ-45) の接続に異常がないかどうか確認してください。
	SFP モジュールが正しく挿入されていることを確認してください。
	自装置と相手装置の通信モードが合っているか確認してください。
端末から別の端末にデータの中継ができない	各端末とスイッチ間のケーブルの接続が正常であることを確認してください。
	ループが発生していないかを確認してください。ループが発生しているとポートを閉塞するので、データの中継しません。

5.2 サポート

本装置が原因と思われる異常が発生した場合、弊社 ApresiaLight シリーズのサポートページより、テクニカルサポートまたは代品提供サービスを申し込んでください。なお、当社出荷日から 5 年間の無償保証期間に限ります(延長不可)。

<https://www.apresia.jp/products/apresialight/support/contact/index.php>

付録 仕様概要

ApresiaLightGS110/120/128/152GT-SS

		APLGS110GTSS	APLGS120GTSS	APLGS128GTSS	APLGS152GTSS
インターフェース	1G RJ45 ポート数	8	16+4 コンボ	24+4 コンボ	48+4 コンボ
	1G SFP ポート数	2	4 コンボ	4 コンボ	4 コンボ
パフォーマンス	スイッチ容量	20 Gbps	40 Gbps	56 Gbps	104 Gbps
	スループット	14.9 Mpps	29.8 Mpps	41.6 Mpps	77.3 Mpps
	パケットバッファ	512 Kバイト	512 Kバイト	512 Kバイト	1.5Mバイト
	MAC アドレス登録数	8K	8K	8K	16K
	スイッチングモード	ストア・アンド・フォワード			
PoE	PoE 給電ポート数	なし	なし	なし	なし
	15.4W フル給電ポート数	—	—	—	—
	30W フル給電ポート数	—	—	—	—
	最大給電電力	—	—	—	—
ハードウェア	本体外形寸法 (WDH) (mm)	280×125.8×44	280×180×44	440×140×44	440×210×44
	概算質量	1.1kg 以下	1.9kg 以下	2.3kg 以下	3.6kg 以下
	消費電力 (AC100V 時)	最大 10 W 平均 7.4 W	最大 16 W 平均 14 W	最大 22 W 平均 19 W	最大 42 W 平均 35 W
	動作電源電圧	AC100～120V±10% (47～63Hz) AC200～240V±10% (47～63Hz)			
	騒音特性	— (ファンレス)			
	冷却ファン	なし			
省エネ法	区分	A			
	最大実効伝送速度	10.0 Gbps	20.0 Gbps	28.0 Gbps	52.0 Gbps
	エネルギー消費効率	0.6 W/Gbps	0.6 W/Gbps	0.5 W/Gbps	0.6 W/Gbps
	達成率(2011年度)	514%	434%	421%	358%

AprasiaLightGS110/120/128GT-POE

		APLGS110GTPOE	APLGS120GTPOE	APLGS128GTPOE	
インターフェース	1G RJ45 ポート数	8	16+4 コンボ	24+4 コンボ	
	1G SFP ポート数	2	4 コンボ	4 コンボ	
パフォーマンス	スイッチ容量	20 Gbps	40 Gbps	56 Gbps	
	スループット	14.9 Mpps	29.8 Mpps	41.6 Mpps	
	パケットバッファ	512 K バイト	512 K バイト	512 K バイト	
	MAC アドレス登録数	8K	8K	8K	
	スイッチングモード	ストア・アンド・フォワード			
PoE	PoE 給電ポート数	8	16	24	
	15.4W フル給電ポート数	8	12	24	
	30W フル給電ポート数	4	6	12	
	最大給電電力	130.0W	185.0W	370.0W	
ハードウェア	本体外形寸法 (WDH) (mm)		330×180×44	440×250×44	440×250×44
	概算質量		1.9kg 以下	3.8kg 以下	4.1kg 以下
	消費電力 (AC100V 時)	PoE 給電なし	最大 13 W 平均 10 W	最大 28 W 平均 23 W	最大 33 W 平均 27 W
		PoE フル給電	最大 189 W 平均 157 W	最大 288 W 平均 240 W	最大 544 W 平均 454 W
	動作電源電圧		AC100~120V±10% (47~63Hz) AC200~240V±10% (47~63Hz)		
	騒音特性		-(ファンレス)	約 45dB (低速回転時) 約 52dB (高速回転時)	約 45dB (低速回転時) 約 52dB (高速回転時)
	冷却ファン		なし	あり	あり
省エネ法	区分		A		
	最大実効伝送速度		10.0 Gbps	20.0 Gbps	28.0 Gbps
	エネルギー消費効率		0.9 W/Gbps	1.1 W/Gbps	0.9 W/Gbps
	達成率(2011 年度)		406%	251 %	314 %

AprasiaLightGS120/128/152GT-SS2

		APLGS120GTSS2	APLGS128GTSS2	APLGS152GTSS2
インターフェース	1G RJ45 ポート数	16+4 コンボ	24+4 コンボ	48+4 コンボ
	1G SFP ポート数	4 コンボ	4 コンボ	4 コンボ
パフォーマンス	スイッチ容量	40 Gbps	56 Gbps	104 Gbps
	スループット	29.8 Mpps	41.6 Mpps	77.3 Mpps
	パケットバッファ	512 K バイト	512 K バイト	1.5M バイト
	MAC アドレス登録数	8K	8K	16K
	スイッチングモード	ストア・アンド・フォワード		
PoE	PoE 給電ポート数	なし	なし	なし
	15.4W フル給電ポート数	—	—	—
	30W フル給電ポート数	—	—	—
	最大給電電力	—	—	—
ハードウェア	本体外形寸法 (WDH) (mm)	280×180×44	440×140×44	440×210×44
	概算質量	1.9kg 以下	2.3kg 以下	3.6kg 以下
	消費電力 (AC100V 時)	最大 16 W 平均 14 W	最大 24 W 平均 20 W	最大 49 W 平均 41 W
	動作電源電圧	AC100～120V±10%(47～63Hz) AC200～240V±10%(47～63Hz)		
	騒音特性	—(ファンレス)		
	冷却ファン	なし		
省エネ法	区分	A		
	最大実効伝送速度	20.0 Gbps	28.0 Gbps	52.0 Gbps
	エネルギー消費効率	0.6 W/Gbps	0.7 W/Gbps	0.8 W/Gbps
	達成率(2011 年度)	377 %	333 %	271 %

AprasiaLightGS110/120/128GT-PoE2

		APLGS110GTPoE2	APLGS120GTPoE2	APLGS128GTPoE2	
インターフェース	1G RJ45 ポート数	8	16+4 コンボ	24+4 コンボ	
	1G SFP ポート数	2	4 コンボ	4 コンボ	
パフォーマンス	スイッチ容量	20 Gbps	40 Gbps	56 Gbps	
	スループット	14.9 Mpps	29.8 Mpps	41.6 Mpps	
	パケットバッファ	512 K バイト	512 K バイト	512 K バイト	
	MAC アドレス登録数	8K	8K	8K	
	スイッチングモード	ストア・アンド・フォワード			
PoE	PoE 給電ポート数	8	16	24	
	15.4W フル給電ポート数	8	12	24	
	30W フル給電ポート数	4	6	12	
	最大給電電力	130.0W	185.0W	370.0W	
ハードウェア	本体外形寸法 (WDH) (mm)		330×180×44	440×250×44	440×250×44
	概算質量		1.9kg 以下	3.8kg 以下	4.1kg 以下
	消費電力 (AC100V 時)	PoE 給電なし	最大 13 W 平均 10 W	最大 28 W 平均 23 W	最大 33 W 平均 27 W
		PoE フル給電	最大 189 W 平均 157 W	最大 288 W 平均 240 W	最大 544 W 平均 454 W
	動作電源電圧		AC100～120V±10% (47～63Hz) AC200～240V±10% (47～63Hz)		
	騒音特性		－ (ファンレス)	約 45dB (低速回転時) 約 52dB (高速回転時)	約 45dB (低速回転時) 約 52dB (高速回転時)
	冷却ファン		なし	あり	あり
	区分		A		
省エネ法	最大実効伝送速度		10.0 Gbps	20.0 Gbps	28.0 Gbps
	エネルギー消費効率		1.0 W/Gbps	1.2 W/Gbps	1.0 W/Gbps
	達成率(2011 年度)		336%	243 %	290 %

ApresiaLightGS シリーズ
ハードウェアマニュアル

Copyright(c) 2018 APRESIA Systems, Ltd.

2018年12月 初版

2024年3月 第9版

APRESIA Systems 株式会社

東京都中央区築地二丁目3番4号

築地第一長岡ビル8階

<https://www.apresiasystems.co.jp/>